

学習支援システム (WebClass)

教員マニュアル

v12 (Mar. 2025)

目次

ようこそ学習支援システム (WebClass) へ	5
学習支援システム (WebClass) を利用する前に	5
動作環境	5
学習支援システム (WebClass) にログインする	6
学習支援システムをログアウトする	8
学習支援システム (WebClass) の授業とユーザ	9
授業に作成できる教材について	9
取り込むことができるファイルの種類	10
ユーザアカウントの種類と役割について	11
授業を準備する	13
授業リストについて	13
アカウント情報を変更する	14
教材一覧について	15
開講情報を確認する	17
授業オプションを設定する	17
授業メンバーを登録する	18
授業メンバーをグループに割り振る	20
グループを作成する	21
グループメンバーを登録する	22
教材を作成する	23
教材の新規作成について	23
既存の教材を編集する	24
資料について	25
資料教材を作成する	25
ページを編集する	28
資料教材を一括で取り込む	29
テスト/レポート/アンケートについて	30
テスト/レポート/アンケート教材を作成する	30
問題を作成する	34
テスト/レポート/アンケート教材を一括で取り込む	42
ピアレビューを用いる教材を作成する	43
既存の問題から教材を生成する	46
LTI ツールと連携する	48
LTI ツールを設定する	49

会議室について	51
会議室教材を作成する	51
授業内掲示板の管理者モードについて	53
チャットの会話をダウンロードする	54
ユニットについて	55
ユニット教材を作成する	55
ユニットを組み立てる	57
FAQ/用語集について	58
教材の公開設定の変更、削除について	59
教材の公開設定を変更する	59
不要な教材を削除する	59
教材の並べ替え、ラベルについて	60
教材を並べ替える	60
ラベルで教材をまとめる	60
試験モードについて	61
試験モード用教材を準備する	61
試験モードを設定する	62
試験モードを有効にする	63
アクティブラーニングを実践する	64
タイムラインについて	64
レポート課題を作成する	67
簡易テスト教材を作成する	68
簡易アンケートを作成する	69
アンケート集計結果を確認する	70
チャットを作成する	71
簡易資料を作成する	71
出席をとる	73
出席について	73
出席を取るための準備をする	73
出席を取る	74
出席データを修正する	76
出席データを一括登録する	77
成績をつける	78
成績について	78
学習履歴を確認する	79
テスト教材の得点を一覧で表示する	80
受講回数や利用時間を確認する	81
出題分野ごとの成績を分析する	82
SCORM 教材の成績を確認する	83
レポートや記述式問題の採点を行う	84
似かよったレポートを検出する	87
問題ごとの詳細な成績を確認する	90

学習支援システム（WebClass）以外で実施したテストの成績を管理する	91
ユーザごとの詳細な成績を確認する	92
アンケートの集計結果を確認する	93
集計結果の詳細を確認する	94
授業の評価点を計算する	95
評価教材を使用して成績を計算する	96
評価教材を使用せずに成績入力のみ行う	98
教材データを保存、移行する	99
教材のコピー、リンク、エクスポート・インポートについて	99
教材のコピーを作る	100
教材を授業間でリンクする	100
リンク教材での制限	100
他の授業から教材をリンクする	100
他の授業へ教材をリンクする	100
教材をエクスポートおよびインポートする	101
教材の移行について	101
バックアップおよびレストアする	102
利用状況のモニタリング	103
授業内のログデータについて	103
異常終了データを削除する	103
アクセスログをダウンロードする	104
利用状況集計を確認する	105
より深く学習支援システム（WebClass）を知る	106
リンク集	106

ようこそ学習支援システム (WebClass) へ

e-Learning は自由な時間や場所で学生のペースや達成度に応じた学習を行うことができる環境を提供します。そして、教材や成績の管理を自動化することができます。

学習支援システム (WebClass) は教員や学生、管理者すべてのニーズに応えることのできる日本の大学のためにつくられた e-Learning システムです。テストやアンケート、授業資料などの教材を簡単に作成でき、また成績データを管理しやすくします。

学習支援システム (WebClass) はパソコンが苦手な人でも簡単に操作できます。そして、使い慣れている Word や Excel、PowerPoint などで作成されたドキュメントファイルを取り込むことができます。そのため、教員の負担を減らすことができます。また、Windows や Mac、Linux などの環境に左右されないで、多様なニーズに合わせて教材を提供することが可能です。このマニュアルでは、教員の画面での操作について説明します。

学習支援システム (WebClass) を利用する前に

まずは学習支援システム (WebClass) を利用するために必要な環境が整っているか確認してください。環境が整ったら、実際に学習支援システム (WebClass) を始めてみましょう。

動作環境

学習支援システム (WebClass) では、以下のブラウザ、スマートフォンおよびタブレットをサポートしています。

なお、ブラウザの設定やプラグインなどによっては、学習支援システム (WebClass) が正常に動作しないことがあります。

- ❖ JavaScript の実行と Cookie を許可しなければいけません。また、Apple 製 OS のロックダウンモード機能では Web ブラウズに関する通信や左のような Web 技術に制限がかかるため、本機能有効にした状態での学習支援システム (WebClass) の動作は保証できません。
- ❖ リンクをクリックしてもウィンドウが開かない場合、ポップアップブロックを無効にしてください。

- ✦ スリープモードや学習支援システム (WebClass) を表示しているブラウザのウィンドウがアクティブではない場合、学習支援システム (WebClass) はセッションを更新できません。2 時間以上セッションが更新されない場合、ログアウトする場合があります。また、スマートフォンやタブレットが省電力モードの時、ブラウザなどの機能を制限します。十分充電した状態でご利用ください。
- ✦ 複数のウィンドウで操作したり、処理が完了しないうちに別の操作を行ったりすると、直前の処理でエラーや正常にデータを保存できない可能性があります。

ブラウザ:

インターネットに接続している Windows、Mac、Linux パソコンから、以下のブラウザの最新版で学習支援システム (WebClass) をご利用いただくことを推奨します。

- Firefox
- Firefox ESR
- Google Chrome
- Microsoft Edge
- Safari

ディスプレイ:

推奨するディスプレイの解像度は 1280×768 以上です。

スマートフォン・タブレット:

ブラウザで利用するのと同様に、ほぼすべての学習支援システム (WebClass) の機能を利用できます。ただし、スマートフォンおよびタブレットの仕様のため一部の機能に対応していません。以下の OS・ブラウザの最新版でご利用いただくことを推奨します。

- Android 上の Chrome
- iOS もしくは iPadOS 上の Safari

学習支援システム (WebClass) にログインする

学習支援システムを使うには、Google Chrome のような Web ブラウザを使います。Windows の場合、Microsoft Edge、Mac では、Safari も推奨しています。パソコンやスマートフォンなどで Web ブラウザを起動し次のアドレスを入力します。学習支援システム (WebClass) へログインし、授業リスト画面を表示する方法を説明します。では、ブラウザを起動してください。

<https://hoppii2025.hosei.ac.jp>



全学ネットワークシステム統合認証

ログインサービス: 学習支援システム

ユーザID(USER_ID)

☐ ユーザIDをマスキングする(masking USER_ID)

パスワード(Password)

ログイン(Login)

このログイン画面は2017年8月7日に画面を
変更しました。
ブラウザのCookieを有効にしてください。
Cookieの具体的な設定方法は、こちらを御覧ください。
※ログイン後、ブラウザを終了すると、再ログイン
が必要となりますのでご注意ください。
全学ネットワークシステムのご利用でご不明な点
があれば、こちら「ユーザー支援Webサイト」
へ。
URL: <http://netsys.hosei.ac.jp>
パスワードをお忘れの場合はこちら「ユーザー支
援WebサイトFAQ、Q&A」を参照ください。
http://netsys.hosei.ac.jp/faq/faq_Change_PW.html

統合認証ログインページで、ユーザーID・パスワード入力を入力してログインします。

ポータルトップ WebClass検索 メッセージ スケジュール 時間割 学習支援システム(WebClass) 個人設定

ポータルトップ > 時間割表示

時間割表示 時間割一覧

アイコンの説明: シラバスリンクボタン WebClassリンクボタン

時間割

2024年度 秋学期

	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						
4		20250205 日本データバシフィック検証用				

ポータル(Hoppii)の時間割画面を開いて、授業名の下の「W」アイコンをクリックします。

法政大学学習支援システム
2025年度 サンプル授業 管理

教材一覧 教材 成績 出席 その他 メンバー 授業管理 学生としてログインする ログアウト

タイムライン

質問よろしいでしょうか? 02/07

確認してください。
[第1回授業の概要.docx](#) 02/06

さらに過去の記録を取得

授業の質問

質問コーナー 更新 9日前 実行者数 1

第1回の授業

チャット 更新 1年前 実行者数 2

レポート課題 更新 9日前 実行者数 1

レポート 利用可能期間 2025/02/05 00:00 - 2025/02/28 23:59

授業資料 更新 13日前 実行者数 2

資料

New 小テスト 更新 2日前 実行者数 2 未採点の答案 1

試験 利用可能期間 2025/02/03 15:32 - 2025/03/04 15:32

第1回授業アンケート 更新 9日前 実行者数 2

アンケート

教材を作成する

教材並び替え/ラベル設定

授業の質問
第1回の授業
オンデマンドシステム
教室
卒業論文

学習支援システム(WebClass)の授業の画面が表示されます。

学習支援システムをログアウトする

法政大学学習支援システム
2025年度 サンプル授業 管理

教材一覧 教材 成績 出席 その他 メンバー 授業管理 学生としてログインする **ログアウト**

タイムライン

質問よろしいでしょうか? 02/07

確認してください。
[第1回授業の概要.docx](#) 02/06

さらに過去の記録を取得

授業の質問

質問コーナー 更新 9日前 実行者数 1

第1回の授業

チャット 更新 1年前 実行者数 2

レポート課題 更新 9日前 実行者数 1

レポート 利用可能期間 2025/02/05 00:00 - 2025/02/28 23:59

授業資料 更新 13日前 実行者数 2

資料

New 小テスト 更新 2日前 実行者数 2 未採点の答案 1

試験 利用可能期間 2025/02/03 15:32 - 2025/03/04 15:32

第1回授業アンケート 更新 9日前 実行者数 2

アンケート

教材を作成する

教材並び替え/ラベル設定

授業の質問
第1回の授業
オンデマンドシステム
教室
卒業論文

画面右上の「ログアウト」をクリックします。

学習支援システム (WebClass) の授業とユーザ

学習支援システム (WebClass) では授業ごとに教材や成績データを管理します。授業とは「授業科目」や「講座」、「ゼミナール (セミナー)」、「研究室」に相当します。1 つの授業を必ず 1 人以上の授業管理者が担当し、e-Learning 教材を作成したり、成績データを管理したりします。なお、ユーザが教材を受講するには、授業メンバーとして登録されていなければいけません。

授業に作成できる教材について

授業管理者はシステム管理者によって割り当てられた授業に 5 種類の教材を作成することができます。

- 会議室: 授業掲示板や Wiki、チャットはグループ学習で利用することができます。
- 資料: デジタル教科書を作成することができます。
- テスト/レポート/アンケート: さまざまな形式で出題することができます。
- ユニット: 会議室や資料、テスト/レポート/アンケート教材を組み合わせる教材です。

取り込むことができるファイルの種類

学習支援システム(WebClass)は、Word や Excel、PowerPoint といった、使い慣れているアプリケーションで作成したデータを教材に取り込むことができます。学習支援システム(WebClass)の資料教材やテスト/レポート/アンケート教材などに取り込むことができるファイルの種類は以下の通りです。

ファイルの種類	説明
Word	DOC、DOCX、DOCМ 形式のみ 画像は対応していますが、音声や動画、アニメーションには対応していません DOCМ 形式(マクロ有効文書)を取り込むことはできませんが、変換時にマクロは取り除かれます
Excel	XLS、XLSX、XLSM 形式のみ 画像は対応していますが、音声や動画、アニメーションには対応していません XLSM 形式(マクロ有効文書)を取り込むことはできませんが、変換時にマクロは取り除かれます
PowerPoint	PPT、PPTX、PPTM 形式のみ 画像は対応していますが、音声や動画、アニメーションには対応していません PPTM 形式(マクロ有効文書)を取り込むことはできませんが、変換時にマクロは取り除かれます
OpenOffice.org LibreOffice	ODT、ODS、ODP 形式のみ
PDF	PDF ファイルはそのまま埋め込まれます
テキスト	TEXT ファイル、CSV ファイル(一括登録)
HTML	HTML4、5 や XHTML1 で書かれた HTML ファイル(ファイル名は半角英数字) 複数の HTML ファイルや CSS ファイル、画像ファイルを含む場合、各ファイルへのリンクは相対パスで指定し、圧縮してから取り込んでください (index.html を優先的に表示します)
LaTeX	LaTeX のソースファイル latex2html を用いて HTML に、数式は画像に変換されます
画像	BMP、JPEG、GIF、PNG 形式
動画	MP4(H.264/MPEG-4 AVC、AAC もしくは MP3)形式を推奨します なお、MPG、AVI、WMV、MOV は取り込むことはできませんが、ブラウザやそのプラグイン、メディアプレイヤーによっては再生できない場合があります
音声	MP3、AAC(M4A)形式を推奨します なお、WAV(WAVE)は取り込むことはできませんが、ブラウザやそのプラグイン、メディアプレイヤーによっては再生できない場合があります
その他	HotPotatoes 6(Standard format Web page)、SCORM1.2/2004(3rd Edition まで)、ChemBioDraw(ChemDraw)、ChemBio3D(Chem3D) など

- ❖ ドキュメントファイルやマルチメディアファイルを開くには、アプリケーションやブラウザのプラグインが必要です。
- ❖ ドキュメントファイルは OpenOffice.org もしくは LibreOffice を用いて HTML もしくは PDF に変換します。変換精度はオリジナルの Word、Excel、PowerPoint ファイルと比べて、HTML 変換では約 70%、PDF 変換では約 90%です。オリジナルのレイアウトやフォントなどを完全に再現できるわけではありません。必要に応じて、PDF 形式で作成しファイル取り込みするか、ファイルを添付してください。
- ❖ XLS、XLSX、XLSM、ODS 形式をファイル変換するには、システムを設定する必要があります。また、PowerPoint ファイルは HTML に変換できません。

- HTML もしくは PDF 変換できるファイルの最大サイズは 20MB です。変換が伴わない場合は、最大 300MB (サーバによっては 200MB) のファイルをアップロードすることができます。
- CSV ファイルは国際規格の RFC 4180 に準拠した Excel など編集してください。CSV ファイルをメモ帳などのテキストエディタで編集する場合は、カンマ(,)とカンマの間の値にダブルクォート(")、カンマ、改行などの制御文字を含める場合、値をダブルクォートで囲みます。また、値内のダブルクォートは二重化("")します。値にエスケープ文字「¥」があると、正常に取り込めないことがあります。
- MP4(H.264/MPEG-4 AVC, AAC もしくは MP3)動画は HTTP ライブストリーミング (HLS)に対応しています。

ユーザアカウントの種類と役割について

学習支援システム(WebClass)上で行うことができる操作は割り当てられたユーザ権限(種類)によって異なります。管理者はユーザ権限を適切に設定しなければいけません。

- 導入されているシステムによっては、権限ごとのできることが異なる場合があります。

	Admin	Author	TA	SA	Observer	User	Guest
アカウント作成	○	×	×	×	×	×	×
授業登録	○	×	×	×	×	×	×
システムの保守	○	×	×	×	×	×	×
授業メンバー登録	○	○	○	×	×	×	×
資料作成	○	○	○	○	×	×	×
課題作成	○	○	○	×	×	×	×
教材受講	○	○	○	○	○	○	○
出席管理	○	○	○	○	○	×	×
出席確認	○	○	○	×	○	×	×
採点・成績管理	○	○	×	×	○	×	×
成績確認	○	○	×	×	○	○	○
授業のバックアップ	○	○	○	×	×	×	×
メッセージの送受信	○	○	○	○	○	○	×

まず、システム管理者 (Admin) はユーザアカウントと授業を作成し、各授業に授業メンバーとしてユーザを割り当てます。

次に授業管理者 (Author) は割り当てられた授業に教材を作成します。そして、教材を実施し、成績データを管理します。

なお、特定の授業メンバーに授業補助をしてもらうため、システム管理者と授業管理者は TA や SA へユーザの授業権限を変更することができます。TA は授業管理者の代理として授業運営を行うことができます。また、SA は授業を円滑に進めるアシスタントとして教材を実施します。Author や TA、SA は上の授業権限が付与されています。デフォルトの設定から変更された場合、「Author(その他)」と表示されます。

オブザーバー (Observer) は教務などの学校職員が使用します。

ユーザ (User) は授業メンバーに登録されている授業で教材を受講することができます。公開講座などのようにゲストユーザ (Guest) にも公開された一部の教材は、ユーザアカウントがなくても受講することができます。

ステータスについて:

学習支援システム (WebClass) ユーザには以下のステータスがあります。学籍などユーザの状況によって、適切なステータスを設定する必要があります。

ステータス	ログイン許可	説明
アクティブユーザ	○	ユーザは権限に従って全ての操作を行うことができます 行うことができる操作は「ユーザアカウントの種類と役割について」をご確認ください
制限ユーザ	○	制限ユーザは、学習支援システム (WebClass) 授業へアクセスできなくなりますが、学習記録ビューアおよびプラグインは利用できます システム管理者や授業管理者は、制限ユーザが行ってきた学習支援システム (WebClass) での活動情報や成績などを集計することができます なお、制限ユーザは登録可能ユーザ数には計上されないため、卒業生に割り当てることができます
期限切れユーザ	×	システム管理者や授業管理者は、期限切れユーザが行ってきた学習支援システム (WebClass) での活動情報や成績などを集計することができます なお、期限切れユーザは登録可能ユーザ数には計上されません
休止ユーザ	×	成績や学習履歴、ログイン状況、アクセスログなどの情報は削除されませんが、集計から除外されます 授業メンバー登録や休止ユーザ宛にメッセージ送信はできません
削除済みユーザ	×	ユーザを削除すると、アカウント情報や回答、成績を復元することはできません

授業を準備する

授業管理者は初めに授業オプションを設定します。そして、必要に応じて授業メンバーを登録したり、グループを分けたりします。この章では、授業を運用する前に必要な準備について扱います。

授業リストについて

授業管理者が学習支援システム(WebClass)にログインします。すると、授業リスト画面が表示されます。この画面には運用している授業や通知などの情報が一覧表示されます。

The screenshot displays the WebClass interface. On the left, there is a sidebar with '授業マニュアル' (Course Manual) and '学習記録ビューア' (Learning Record Viewer). The main area shows '参加している授業' (Courses I am participating in) with a dropdown for '表示する学期' (Select semester) set to '2024' and '秋学期' (Autumn semester). Below this is the '時間割表' (Timetable) which is a grid showing days of the week and periods. The timetable includes course details such as 'WebClass準応用コース(2024-秋学期)' and 'WebClass準応用コース W11(2024-秋学期)'. The interface also features a 'アカウントメニュー' (Account Menu) and a 'ログアウト' (Logout) button in the top right corner.

時間割が決まっている授業は、時間割表に表示されます。時間割表はプルダウンリストから年度と学期を指定することで表示を切り替えることができます。

授業を担当していて、時間割表に表示できない授業は時間割の下にあるその他の授業に表示されます。また、終了した授業は、システム管理者によってロックされます。ユーザは「(Locked Course)」と付いた授業にある教材を実行することはできませんが、成績を閲覧することはできます。なお、一覧表示された授業は、授業名で絞り込み検索することができます。

システム管理者によって学習記録ビューア機能が有効に設定されている場合、集約された大学での活動に関する情報や教職履修カルテなどを確認することができます。詳しくは「学習記

録ビューア オンラインマニュアル」(<https://webclass.jp/manuals/admin/integrated-portfolio/>)をご覧ください。

画面右上にあるアカウントメニューを選択し「English」もしくは「日本語」をクリックすることで、表示する言語を切り替えることができます。また、マニュアルや FAQ はアカウントメニューから確認することができます。

アカウント情報を変更する

通知を受け取るために使用するメールアドレスを設定したり、文字サイズを変更したりするには、「アカウントメニュー」>「アカウント情報の変更」をクリックしてください。

設定	説明
ユーザ ID	学習支援システム(WebClass)へログインする際などで使用します なお、ユーザ ID は変更できません
権限	このユーザ ID は授業管理者として学習支援システム(WebClass)を利用できることを表しています
氏名	システム管理者により変更を許可されている場合は、表示する氏名を変更することができます
パスワード	システム管理者により変更を許可されている場合は、学習支援システム(WebClass)へログインする際に使用するパスワードを変更することができます
メールアドレス	システム管理者によって機能が有効に設定されている場合、登録されたメールアドレスで通知を受信することができます
画面表示	テーマカラーや文字の大きさを変更することができます

- ✖ メールアドレスや画面表示設定を変更するためにパスワードを入力する必要はありません。

変更した設定を反映させるには[更新]ボタンをクリックし、ログインし直します。

メールアドレスを変更する:

- ✖ 個人メールアドレスの追加操作は、ポータルで実施します。
- ✖ 送法政大学付与のメールアドレス(@stu,hosei.ac.jp)は変更できません。

教材一覧について

まず、運用する授業に移動します。授業リスト画面において、授業名をクリックしてください。なお、授業リスト画面に戻るには、画面左上にある「学習支援システム (WebClass)」リンクをクリックするか、「アカウントメニュー」>「授業リスト」をクリックしてください。

授業に移動すると、下図のような教材一覧画面が表示されます。授業管理者は主にこの画面で授業を管理します。

The screenshot shows the 'Grammar' textbook management interface. On the left, a vertical menu lists navigation options: 教材一覧 (Textbook List), 教材 (Textbook), 成績 (Grades), 出席 (Attendance), その他 (Others), メンバー (Members), 授業管理 (Class Management), and 「▼」メニュー (Dropdown Menu). The main area is titled '教材一覧' (Textbook List) and contains a 'タイムライン' (Timeline) section on the left with a list of items like 'Questionnaire 2', 'Chat', 'Relative Clauses', 'Questionnaire', and 'Quiz 03'. The central part of the screen displays a list of textbook units under the heading 'Unit', including 'All about grammar', 'All about grammar2', 'Chatto', 'Adjective', 'Adjective2', 'Content', 'Reading', 'Test(02/14 10:48)', 'Quiz 03', 'Questionnaire', 'Relative Clauses', and 'Chat(02/14 10:51)'. On the right side of the interface, there is a '教材を作成する' (Create Textbook) button and a '教材並び替え/ラベル設定' (Sort Textbook/Label Setting) button. A '「***」メニュー' (*** Menu) is also indicated. The entire main content area is labeled '教材一覧' (Textbook List).

教材では教材を作成したり、教材一覧やタイムラインを確認したりすることができます。

成績では授業の成績やアンケート結果を確認したり、レポートを確認および採点したりできます。

出席では出席をとったり、今までの出席状況を確認し、変更したりできます。

メンバーでは授業メンバーの登録やグループ分け、授業メンバーのアクセス状況を確認することができます。

授業管理では開講情報に時間割や授業 ID や授業 URL が表示され、授業オプションや試験モードの設定、バックアップおよびレストア、利用状況集計の確認を行うことができます。

「学生としてログインする」をクリックすると、学生モードに切り替わり、学生にどのように表示されているか確認することができます。学生モードを終了し、教材の編集に戻るには「管理者に戻る」をクリックしてください。

タイムラインは先生が教材作成や投稿すると、学生が取り掛からなければいけない教材などを時系列で通知します。

教材一覧には授業で使用する教材が表示されます。教材にラベルを付けてまとめたり、ドラッグ・アンド・ドロップで並べ替えたりすることができます。各教材の「」メニューをクリックすることでオプションを変更したり、教材の内容を編集したり、公開/非公開設定を行うことができます。さらに、教材のコピーやエクスポート、他授業へのリンク、削除することもできます。また、公開状況ではオプションの概要や教材の状況、公開 URL を確認できます。学生成績、問題ごとの成績表示/再採点、利用状況、学習履歴、講評を確認することができます。未採点の答案数には、その教材のレポート提出および記述式の全設問に提出された解答のうち未採点分が表示されます。

開講情報を確認する

メニュー「授業管理」>「授業オプション／時間割設定」をクリックすると、授業の情報が表示されます。授業の説明や時間割などを変更するには[編集]ボタンをクリックしてください。

オプション	説明
授業情報(授業の説明)	授業リスト画面に授業の説明が表示されます
授業情報(時間割)	授業リスト画面で時間割表から授業を選択できるようにします
メンバー限定モード	メンバー限定モードは学生自身が受講したい授業への参加もしくは受講している授業から退会することを禁止します
授業パスワード	ユーザが授業メンバーに登録する際に必要なパスワードを半角英数字で設定できます
授業アイコン	時間割が設定されていない授業は、授業リスト画面の「運用中の授業」や「参加している授業」(ユーザ)に表示される授業名にアイコンをつけることができます

- 導入されているシステムによっては、設定できるオプションが実際の画面と異なる場合があります。

設定が完了したら、画面下の[保存]ボタンをクリックします。

授業オプションを設定する

授業管理者はオプションを設定することで、授業表示をカスタマイズしたり、機能を有効にしたりできます。メニュー「授業管理」>「授業オプション／時間割設定」をクリックして、授業設定の画面を表示させてください。

オプション	説明
'New'マーク	更新された教材に New マークを 1 週間表示します
シラバス	授業計画や概要を授業メンバーに公開することができます
FAQ/用語集	FAQ/用語集を作成し、授業メンバーに公開することができます
「試験」教材の得点公開	種別が試験(成績非公開)であるテスト/レポート教材において、学生に点数のみ閲覧できるようにします
成績評価の公開設定	ユーザが成績評価結果を閲覧できるように変更することができます
メンバーリストを表示する	学生が授業に参加しているメンバーを確認できるようにします また、メッセージ新規作成時、送信先として学生をユーザリストから選択できるようになります

- 導入されているシステムによっては、設定できるオプションが実際の画面と異なる場合があります。

設定が完了したら、画面下の[保存]ボタンをクリックします。

授業メンバーを登録する

学習支援システム(WebClass)で授業を受けるには、ユーザが授業メンバーとして登録されている必要があります。また、間違えて登録されていたり、受講を取り止めた授業メンバーを削除したりすることができます。

- ➡ 導入されたシステムによっては、授業管理者が授業メンバーを登録する権限を持たない場合があります。

年度始めにシステム管理者が授業の作成および授業メンバーの登録を行います。また、オプション設定でメンバー限定モードを無効(フリーメンバーモード)に設定した授業では、ユーザが自由に授業へ登録および退会ができます。そのため、授業管理者はユーザを授業メンバーとして登録したり、授業メンバーに TA や SA などの管理者権限を与えたりできます。

メニュー「メンバー」>「登録/変更/削除」をクリックして、授業メンバーの登録/変更/削除画面を表示させてください。

この画面では登録されている授業メンバーを氏名やユーザ ID といった検索条件で[現在のメンバー検索フォーム]ボタンから検索することができます。また、「条件の追加」に学籍情報を追加することでユーザを絞り込むことができます。また、追加された条件を解除するには、[x] ボタンをクリックしてください。

- ➡ 検索条件にはワイルドカードや or 演算子を用いることができます。

検索結果に表示する学籍情報を変更するには、表示項目から選択してください。

[検索して追加]ボタン

[ファイルで一括登録/削除]ボタン

[現在のメンバー検索フォーム]ボタン

現在のメンバーリスト

権限の詳細

[選択したユーザを授業から削除]ボタン

[表示設定/授業権限を更新する]ボタン

- 1 授業メンバーを追加するには、授業メンバーの登録/変更/削除画面の[検索して追加]ボタンをクリックします。
- 2 「氏名」もしくは「ユーザ ID」を入力し、ユーザを検索します。

- 3 「付与する授業権限」を選択します。
- 4 検索結果から登録したいユーザのチェックボックスをクリックし、[選択したユーザを追加] ボタンをクリックします。

授業権限を変更する:

すでに授業メンバーとして登録されているユーザの授業権限を変更することができます。授業権限は所属する授業内で利用できる機能の範囲を指定します。授業権限の種類については「ユーザアカウントの種類と役割について」をご覧ください。

授業メンバー検索後、「授業権限」のプルダウンリストから選択するか、「権限の詳細」リンクから機能ごとに権限を設定します。ユーザに新しい授業権限を与えられます。新しい授業権限を反映させるには[表示設定/授業権限を更新する]ボタン(権限の詳細では[更新]ボタン)をクリックします。

授業メンバーを一括登録・削除する:

CSV ファイルを用いて授業メンバーを一括登録・削除することができます。まず、[ファイルで一括登録/削除]ボタンをクリックしてください。次にデータファイルを作成するため、一括登録用サンプルファイルをダウンロードしてください。Excel などのエディタで以下のフィールドを編集します。

フィールド	説明
user_id	登録するユーザ ID
course_perm	指定できる権限は author、observer、user、ta、sa です 指定されていない場合は、システム管理者がユーザ登録時に設定した権限で割当てられます

- 🔗 CSV ファイルの 1 行目には、フィールド名を必ず入力してください。

作成したデータファイルを選択し、[ファイルで授業に一括登録]ボタンあるいは[ファイルで授業から一括削除]ボタンをクリックします。

授業メンバーをグループに割り振る

次のような場合、授業メンバーをグループ分けし、教材ごとに実行するグループを設定することができます。

- グループ学習のようにグループごとに異なる会議室教材を使用する場合
- 学習到達速度ごとに使用する資料教材やテスト教材を分けたい場合
- 複数のクラスが同一授業を受講する際にアクセス制限したい場合

教材を実行できるグループを設定するには、メニュー「メンバー」>「グループ設定」をクリックし、グループセット一覧画面であらかじめグループを作成する必要があります。

[グループの作成を開始する]ボタン

[インポート]ボタン

[編集]ボタン
[エクスポート]ボタン
[削除]ボタン

サンプルファイル

グループ設定機能は複数のグループをまとめたグループセット単位で管理します。目的に合わせてグループを構成することができます。

- ✦ ユーザはグループセット内で複数のグループに所属することはできません。複数のグループに同一ユーザを登録するには、新しくグループセットを作成する必要があります。
- ✦ グループは以下で指定できます。
 - ユニット教材、会議室教材、資料教材、テスト・レポート・アンケート教材のオプション「利用できるグループを限定する」
 - 成績一覧画面や進捗状況一覧画面の絞り込み検索
 - メッセージ作成画面の宛先でのユーザリストの絞り込み検索

[グループの作成を開始する]ボタンをクリックし、グループセット編集画面でグループを作成します。グループセットを作成した後、ラジオボタンで選択した状態で[編集]ボタンをクリックすることで名前やメンバー構成を変更できます。また[エクスポート]ボタンでそのグループセットのグループとメンバーを CSV ファイルでダウンロードできます。なお、不要なグループセットは[削除]ボタンで削除できます。

グループセットを一括で作成する:

CSV ファイルを用いてグループセットとグループを一括で作成することができます。まず、データファイルを作成するため、サンプルファイルをダウンロードしてください。Excel などのエディタで以下のフィールドを編集します。

フィールド	説明
group_set_name	まとめるグループごとに同一のグループセット名を入力します
group_name	グループ名を入力します
(group_name 以降の列)	グループに登録するユーザ ID を末尾の各カラムに 1 つずつ入力します(1 ユーザごとにコンマで区切る)

👉 CSV ファイルの 1 行目には、フィールド名を必ず入力してください。

グループセット一覧画面で作成したデータファイルを指定し、[インポート] ボタンをクリックします。

グループを作成する

まず、グループ編集画面でグループセットと、そのグループセットに追加するグループを作成します。教材のオプション画面で実行できるグループを設定する際に探しやすくするため、グループセットは分かりやすい名前をつけます。

The screenshot shows the 'Grammar' system interface for group management. It includes a top navigation bar with options like '教材一覧', '教材', '成績', '出席', 'その他', 'メンバー', '授業管理', and '学生としてログインする'. Below this is a sub-navigation bar with '登録 / 変更 / 削除', 'グループ設定', 'アクセスログ', and 'ログイン状況'. The main content area has a '保存' (Save) button at the top left. Below it is a form for 'グループセット名' (Group Set Name) with a text input field containing 'sample1'. Underneath is a table for 'グループ一覧' (Group List) with columns for 'グループ名' (Group Name), '操作' (Action), and 'グループメンバー数' (Group Member Count). The table lists three groups: 'Group 1', 'Group 2', and 'Group 3'. Each group has buttons for 'メンバー追加' (Add Member), 'メンバー確認/削除' (Check/Remove Member), and 'グループ削除' (Delete Group). A 'グループ追加' (Add Group) button is located at the bottom left of the table. On the right side of the table, there are three buttons: '[メンバー追加] ボタン' (Add Member Button), '[メンバー確認/削除] ボタン' (Check/Remove Member Button), and '[グループ削除] ボタン' (Delete Group Button). The footer of the page says 'Powered by WebClass'.

[保存] ボタン

グループセット名

グループ名

[グループ追加] ボタン

[メンバー追加] ボタン

[メンバー確認/削除] ボタン

表示順序

[グループ削除] ボタン

- 1 「グループセット名」を入力し、[保存] ボタンをクリックします。
- 2 必要なグループの数だけ [グループ追加] ボタンをクリックし、作成します。
👉 間違えて作成したグループは [グループ削除] ボタンで削除します。
- 3 「グループ名」を編集し、[保存] ボタンをクリックします。
- 4 グループを表示される順番を入れ替えるには、「順番」プルダウンリストから表示させる順番に変更します。順番を変更したら、[保存] ボタンをクリックします。
- 5 [メンバー追加] ボタンをクリックすると、グループメンバー追加画面が表示されます。

グループメンバーを登録する

次に作成したグループにメンバーを登録します。なお、既存のグループ所属メンバーはグループセット編集画面で[メンバー確認]ボタンをクリックします。グループメンバーが表示され、選択したユーザはグループから外されます。

グループ一覧に戻る

検索条件

グループ選択
[選択したユーザをグループに追加]
ボタン

[検索結果全員をグループに追加]
ボタン

- 1 検索条件を指定し、[検索]ボタンをクリックします。グループに登録されていないユーザを対象とするには「グループ未所属ユーザのみ」にチェックを入れて検索します。
🔍 検索条件にはワイルドカードや or 演算子を用いることができます。
- 2 グループ選択プルダウンリストに表示されているグループ名を確認します。登録するユーザにチェックを入れ、[選択したユーザをグループに追加]ボタンをクリックするか、[検索結果全員をグループに追加]ボタンをクリックします。
🔍 グループ所属ユーザを別のグループに登録すると、所属するグループが変更されます。
- 3 続けて別のグループにメンバーを登録するには、グループ選択プルダウンリストからグループを選択し、2 の操作を行います。

教材を作成する

学習支援システム(WebClass)を用いた授業を行うには、授業管理者は担当する授業内に教材を作成する必要があります。しかし、学習支援システム(WebClass)は操作が簡単で、過去に作成された Word や Excel、PowerPoint などのドキュメントファイルを取り込むことができますので、導入に時間がかかりません。この章では教材の作り方を説明します。

教材の新規作成について

授業管理者は会議室、資料、テスト/レポート/アンケート、ユニットといった教材を作成できます。教材一覧画面の[教材を作成する]ボタンをクリックすると、教材 新規作成画面が表示されます。

この章では教材の種類を指定して教材を作成する方法を説明します。



資料では予習・復習や授業時のテキストとして利用できる授業用スライドや参考資料を作成することができます。テスト/レポート/アンケートにはレポート、テスト、アンケートがあります。レポート提出、定期試験や小テスト、問題演習、記名式もしくは無記名式のアンケートを実施することができます。会議室には授業掲示板、Wiki、チャットがあります。授業掲示板では質問や意見などを投稿できます。Wiki では今までの議論や学習などをまとめたウェブページを作成することができます。チャットでは授業掲示板とは異なりリアルタイムで会話することができます。ユニットは会議室、資料、テスト/レポート/アンケート教材を組み合わせ、学生に実行させる順番をプログラムすることができます。

既存の教材を用いた教材作成については「教材のコピー、リンク、エクスポート・インポートについて」を、外部データインポートは「学習支援システム (WebClass) 以外で実施したテストの成績を管理する」をご確認ください。

既存の教材を編集する

教材一覧画面で教材の「***」メニューからオプションを変更したり、教材の内容を編集したり、公開/非公開設定を行うことができます。「公開状況」をクリックすると、オプションの概要や教材の状況、公開 URL を確認できます。学生成績、問題ごとの成績表示/再採点、利用状況、学習履歴、講評を確認することができます。オプションや教材の内容を編集するには「設定」や「編集」をクリックしてください。

- ✦ 学生成績では「回答の見直しを許可」オプションが有効である場合、最後に行われた回答のみで成績が集計されます。

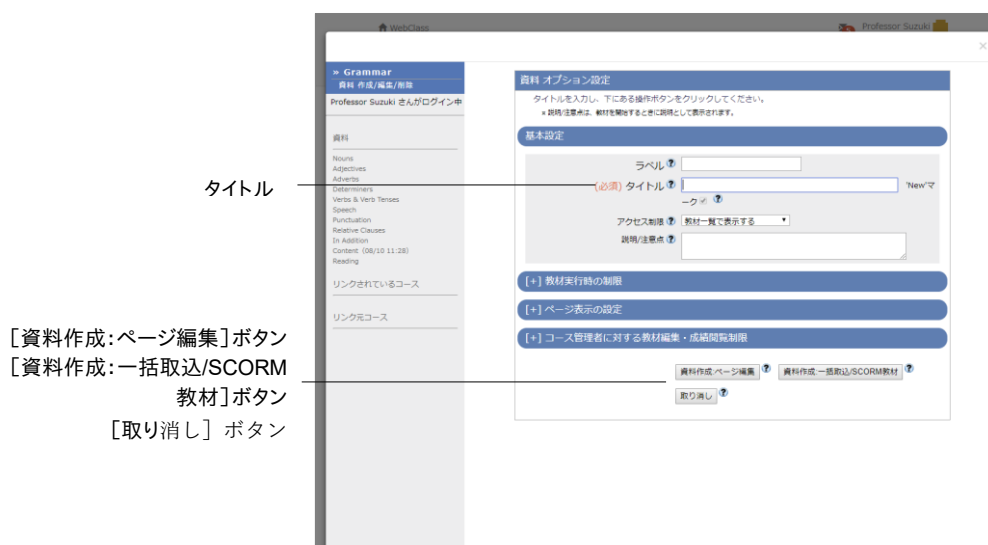
資料について

資料教材では、見出しと本文を持つページで構成されたデジタル教科書を作成することができます。本文にはプレーンテキストや HTML タグで記述することができますが、Word や Excel、PowerPoint、PDF などのドキュメントファイル、TeX ファイルや SCORM 教材も取り込むことができます。

- 🔥 SCORM とは Sharable Content Object Reference Model (共有可能な教材オブジェクト参照モデル) の略称で、アメリカの標準化団体 ADL (Advanced Distributed Learning Initiative) が策定し、NPO 法人日本イーラーニングコンソシアム (eLC) が日本語版を公開している e ラーニングにおける標準規格です。SCORM 1.2 および SCORM 2004 3rd Edition までに対応しています。
- 🔥 HotPotatoes で作成された SCORM 1.2 Package は学習支援システム (WebClass) ではサポートしていません。

資料教材を作成する

教材一覧画面で [教材を作成する] ボタンをクリックし、教材 新規作成画面を表示します。「資料」をクリックし、資料 オプション設定画面を表示します。



1 必須オプション「タイトル」に教材名を入力します。

✖ 教材に同じタイトルをつけることはできません。

2 必要であれば、メニューを展開し、他のオプションを設定します。

オプション	リンク教材 変更可	説明
ラベル	○	複数の教材をラベルでまとめて表示することができます
タイトル	○	画面に表示される資料教材のタイトルを入力します
アクセス制限	○	ユーザやゲストユーザに教材を公開するかどうかを選択できます 非表示にされた教材はユーザの成績画面に表示されません
説明/注意点	○	教材を実行する際に表示されます
日時制限	○	ユーザが教材を開始する期間を設定できます ユーザは学習支援システム(WebClass)サーバ時刻で開始日時の 00 秒から終了日時の 59 秒まで教材を開始することができます 終了日時を経過した実行中の教材を強制的に閉じることはできません
実行回数の制限	○	ユーザが教材を閲覧できる回数を制限できます
制限時間	○	閲覧できる時間を分単位で制限することができます (SCORM 教材除く)
利用できるグループを限定する	○	授業メンバーのうち教材を実行できるグループを制限することができます このオプションを利用するにはグループ設定を行わなければいけません(詳しくは「授業メンバーをグループに割り振る」をご覧ください)
利用できるメンバーを限定する	○	授業メンバーのうち教材を実行できるユーザを制限できます ワイルドカードを用いた指定と CSV ファイルによる一括指定ができます
IP アドレス制限	○	教材にアクセスできる端末の IP アドレスを IP-IP、IP/BIT、IP/MASK 形式で指定することができます(完全一致) また、ワイルドカードを用いることもできます
実行パスワード	○	パスワードによって実行できる教材を制限することができます 最大 10 文字までの半角英数記号を設定できます
表示形式	○	資料画面のレイアウトを指定できます 目次もしくはメニューバーどちらかを表示してください
「しおりをつけて閉じる」ボタンの表示		教材を途中で終了しても、次回、続きから実行できるよう中断した位置を保存します
「印刷」ボタンの表示		教材の印刷を許可します
ロックパスワード	○	パスワードによって教材編集を制限することができます 最大 10 文字までの半角英数記号を設定できます

✖ 導入されているシステムによっては、設定できるオプションが実際の画面と異なる場合があります。

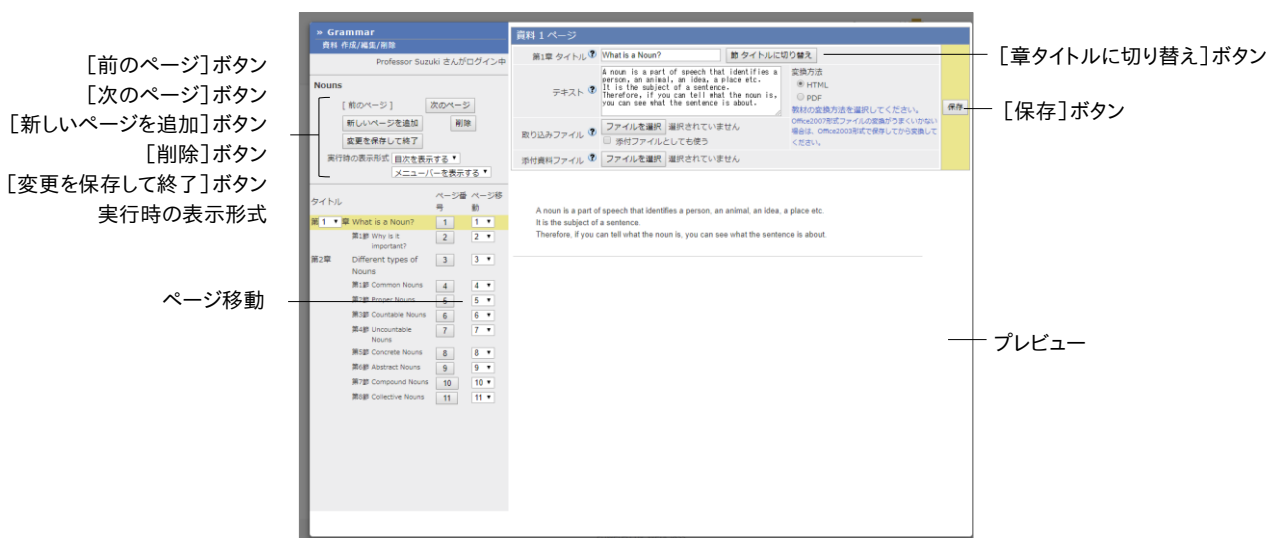
✖ 「リンク教材変更可」に○がついたオプションは、リンク元ではなくリンク教材の設定が反映されます。

- ✦ 「利用できるグループを限定する」を設定すると、グループ未所属ユーザは実行できなくなります。特定のユーザも教材を実行できるようにするには「利用できるメンバーを限定する」に設定します。
 - ✦ 「利用できるメンバーを限定する」で指定できる CSV ファイルは、1 行の文字列長が 9KB (9216 文字) までです。限定するユーザが多い場合、カンマ(,)で区切らず、1 ユーザ ID ごとに改行してください。
- 3 設定が完了したら、[資料作成: ページ編集] ボタン、もしくは [資料作成: 一括取込 / SCORM 教材] ボタンをクリックし、オプション設定を保存します。

ページを編集する

オプションを設定後、[資料作成: ページ編集] ボタンをクリックすると、ページ編集画面が表示されます。この画面では、ページの作成および構成を行います。

- テキスト欄に「http://」や「ftp://」で始まる文字列を入力すると、リンクとして表示されます。教材一覧画面「***」メニューの「公開状況」をクリックし、「資料内 URL のクリック履歴」タブを開くと、各 User がリンクをクリックした回数を確認することができます。
- テキスト欄でタブ文字や HTML タグ、MathML タグを使用することができます。HTML タグでは文字装飾のためや<i>など、またルビをふるため<ruby>（段落を<p>や<div>で囲ってください）を使用できますが、<script>は使用できません。また、MathML タグは頭文字が「m」のタグのみに対応し、1 つの数式に改行を入れることはできません。ブラウザの仕様により Firefox と Safari、Google Chrome 109 以降、Microsoft Edge 109 以降、Mobile Safari のみ対応しています。
- UTF-8 で表示できる文字を使用してください。絵文字や半角カタカナ、機種依存文字、日本語や英数字以外の文字は正しく表示できないことがあります。
- 一部の Android および iOS 5 以前では仕様のためファイルをアップロードできません。iOS 6 以降では画像ファイルのみを、また iOS 9 以降では iCloud Drive や DropBox、Google Drive、OneDrive などにある各種ファイルをアップロードすることができます。



- ページの「タイトル」を入力します。[章タイトルに切り替え] ボタンをクリックし、見出しに階層をつけます。
 - テキスト欄に本文を入力するか、取り込みファイルを指定します。変換方法を指定し、[保存] ボタンをクリックします。編集内容がプレビューに表示されます。プレビューに問題がなければ、次に進んでください。
- ドキュメントファイルを取り込む場合、「テキスト」に入力された内容は表示できません。
 - PDF ファイルが正しく表示されない、もしくは[印刷] ボタンから印刷できない場合は、リンクをクリックし、別ウィンドウで開き直してから、再度試してください。

- ✦ 取り込みファイルにサイズが 401×481 ピクセル以上の画像を指定し、HTML 変換すると、縮小表示されます。この場合、オリジナルサイズで表示するためのリンクが表示されます。
 - ✦ HTTP ライブストリーミング (HLS) 有効時、取り込まれた MP4 (H.264/MPEG-4 AVC, AAC もしくは MP3) 動画はストリーミング再生され、ユーザは動画をダウンロードすることができません。なお、無効時に取り込まれた MP4 動画はダウンロード再生されます。
 - ✦ 編集されたページは[保存]ボタンや[変更を保存して終了]ボタンをクリックすると、保存されます。また、[新しいページを追加]ボタンを含むページ移動時にも保存されます。
 - ✦ 「添付資料ファイル」で複数のファイルを指定すると、1 つの zip ファイルへまとめてアップロードが可能です。
- 3 次のページを作成する場合は[新しいページを作成]ボタンを、資料の作成を終了する場合は[変更を保存して終了]ボタンをクリックします。
 - 4 ページ構成を変更するには、目次の「ページ移動」で移動先のページ番号を指定します。なお、ページを削除するには[削除]ボタンをクリックしてください。

資料教材を一括で取り込む

学習支援システム (WebClass) は多くのページで構成された資料教材や SCORM 教材を取り込むことができます。まず、取り込む教材ファイルを用意します。アカウントメニューの中にある「マニュアル」をクリックし、サンプルファイルをダウンロードしてください。

- ✦ 一括取り込みによって作成された資料教材を再編集するには、オプション画面の[資料作成: ページ編集]ボタンをクリックし、個別にページを編集する必要があります。
- 1 サンプルデータに含まれる t_list.csv のフィールドを Excel などのエディタで編集します。

フィールド	名前	説明
chapter	章のタイトル	章もしくは節のタイトルを入力します
section	節のタイトル	章もしくは節のタイトルを入力します
file	素材ファイル名	HTML 変換するファイルを指定します
text	テキスト	「file」の代わりに本文を入力できます
attach_file	添付ファイル名	添付するファイルがある場合に指定します

 - ✦ CSV ファイルの 1 行目には、フィールド名を必ず入力してください。
 - ✦ 一括で取り込むファイルやフォルダの名前は、半角英数字で指定してください。
 - 2 t_list.csv および「file」と「attach_file」で指定した素材ファイルを同一フォルダに置き、ZIP 形式で圧縮します。
 - 3 資料教材のオプションを設定し、[資料作成: 一括取込/SCORM 教材]ボタンをクリックします。
 - 4 2 で作成した一括取り込み用ファイルもしくは SCORM 教材ファイルを資料一括取り込み画面で指定し、[読込み]ボタンをクリックします。「確認画面へ」リンクをクリックし、取り込んだ教材のページを確認します。
 - ✦ 取り込みが可能なファイルは ZIP ファイルのみです。

テスト/レポート/アンケートについて

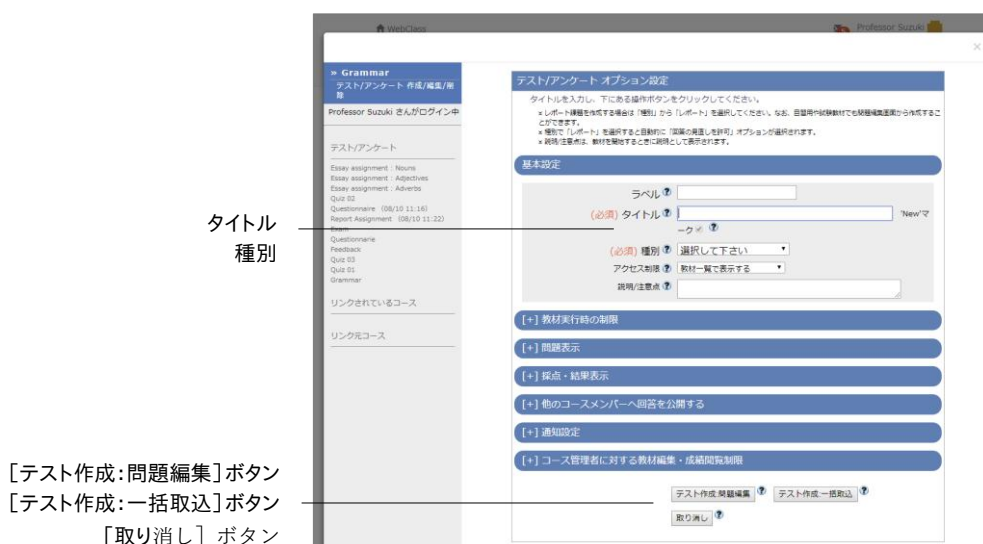
テスト/レポート/アンケート教材はレポート提出やアンケート、定期試験、小テスト、自習問題で利用することができます。また、HotPotatoes 教材を取り込むこともできます。

- HotPotatoes とは、カナダのヴィクトリア大学で開発された自動採点可能な練習問題作成ソフトです。選択問題やクロスワード、並び替え、穴埋め問題など作成できます。非営利目的の個人や教育関係者が登録すると無料で使用できます。
- HotPotatoes の CGI オプション「Submit results through CGI to an email address」を有効にし、HotPotatoes 6 (Masher 除く) で Standard format の Web Page で出力された HTML ファイルのみ取り込むことができます。
- 回答は実行画面のページ移動を含む各ボタンおよびリンクをクリックした時に保存され、レポート課題や記述式問題では提出扱いとなります。

作成したテスト/レポート/アンケート教材は実施後、自動的に成績を集計したり、容易にレポートを採点したりできます。詳しくは「成績をつける」をご覧ください。

テスト/レポート/アンケート教材を作成する

教材一覧画面で「教材を作成する」ボタンをクリックし、教材 新規作成画面を表示します。「レポート」、「テスト」、「アンケート」のいずれかをクリックし、テスト/アンケート オプション設定画面を表示します。



- 1 必須オプションを設定します。「タイトル」に教材名を入力し、問題の「種別」を選択します。

🔴 同じタイトルを持つ教材を複数作成することはできません。

種別	学生への成績表示	説明
自習用(成績公開)	○	教材を実行し、最後に正解と解説を確認することができます
試験(成績非公開)		定期試験やテストとして使用できます 授業設定で『「試験」教材の得点公開』を有効にしている場合は、テストの点数のみ閲覧できます
一問一答	○	1 問ごとに正解を確認しながら、問題を進めることができます
アンケート(記名式)		実名で行うアンケートを作成できます
アンケート(無記名式)		無記名で行うアンケートを作成できます 回答者と紐付けずに回答が保存・集計されます
レポート	○	レポートの提出および採点を行います
レポート(成績非公開)		レポートの得点はユーザの成績画面やマイレポートに表示されません マイレポートにコメントは表示されます 授業設定で『「試験」教材の得点公開』を有効すると、得点が表示されます
HotPotatoes(試験)		HotPotatoes 教材を試験として実施します
HotPotatoes(自己学習)	○	HotPotatoes 教材を自習用として実施します

- 🔴 導入されているシステムによっては、設定できるオプションが実際の画面と異なる場合があります。
- 🔴 Hot Potatoes 教材においては Hot Potatoes の[Check]ボタンをクリックすることで、解答が保存されます。

- 2 必要であれば、他のオプションも設定します。

オプション	種別固有	リンク教材 変更可	説明
ラベル	共通	○	複数の教材をラベルでまとめて表示することができます
タイトル	共通	○	画面に表示されるテスト/レポート/アンケート教材のタイトルを入力します
種別	共通	△	教材の種類を指定できます
アクセス制限	共通	○	ユーザやゲストユーザに教材を公開するかどうかを選択できます 非表示にされた教材はユーザのマイレポートなどの成績画面に表示されません
説明/注意点	共通	○	教材を実行する際に表示されます

オプション	種別固有	リンク教材 変更可	説明
日時制限	共通	○	ユーザが教材を実行することができる期間を設定できます ユーザは学習支援システム (WebClass) サーバ時刻で開始日時の 00 秒から終了日時の 59 秒まで教材を開始することができます テスト・レポート・アンケート教材では、実行中に期限を過ぎると、強制終了し回答できなくなります ネットワークの問題により日時制限内に送信が完了できなかった回答は、強制終了後、3 分以内は保存されます 再提出期限が設定された場合は、指示されたユーザのみ期限が延長されます
実行回数の制限	学習カルテ除く	○	ユーザが教材を開くことができる回数を制限できます
制限時間	学習カルテ除く	○	強制終了に至るまでの時間を設定することができます 「回答の見直しを許可」オプションが「する」の時、2 回目以降の回答ではタイマーは前回の経過時間から再開し、「しない」の時、タイマーはリセットされます
利用できるグループを限定する	学習カルテ除く	○	授業メンバーのうち教材を実行できるグループを制限することができます このオプションを利用するにはグループ設定を行わなければいけません (詳しくは「授業メンバーをグループに割り振る」をご覧ください)
利用できるメンバーを限定する	学習カルテ除く	○	授業メンバーのうち教材を実行できるユーザを制限することができます 制限するユーザ ID が多い場合、ワイルドカードや CSV ファイルを用いることができます
IP アドレス制限	学習カルテ除く	○	教材にアクセスできる端末の IP アドレスを IP-IP、IP/BIT、IP/MASK 形式で指定することができます (完全一致) また、ワイルドカードを用いることもできます
実行パスワード	学習カルテ除く	○	パスワードによって実行できる教材を制限することができます 最大 10 文字までの半角英数記号を設定できます
ページ設定	学習カルテ、HotPotatoes 除く	△	設問のページ構成を指定できます
設問番号を隠す	学習カルテ、HotPotatoes 除く		単一ページで作成された教材を実行した時、設問番号を非表示にすることができます
選択肢の添え字	学習カルテ、HotPotatoes 除く		選択肢の添え字のパターン指定できます

オプション	種別固有	リンク教材 変更可	説明
選択肢並べ替え	学習カルテ除く		カンニング防止のため、選択肢の順番を入れ替えます 単数選択式、複数選択式、マッチング、順序付け、表形式のみ 単数選択式と複数選択式では、解説でのファイル変換や手入力はできませんが、各選択肢に対する解説を設定できます
ランダム出題	学習カルテ、HotPotatoes除く		カンニング防止のため、ランダムに出題させることができます 抽出する数に指定した設問数だけランダムに出題されます 抽出する数が未指定の場合、すべての問題がランダムに出題されます 設問に出題分野が設定されている場合、抽出する設問数の範囲内でどの分野からも均等に出題しますが、設定されている設問数によっては出題数に偏りが出る場合があります
前の問題に戻れないように設定	学習カルテ、HotPotatoes除く		[前ページ] ボタンを非表示にします 一問一答では有効で固定されます
未回答があった場合	学習カルテ除く		未回答の問題があった時の対応を指定できます 「全て回答するまで終了できない」が有効時でも制限時間が優先されます
「しおりをつけて閉じる」ボタンの表示	学習カルテ除く		教材を途中で終了しても、次回、続きから実行できるよう中断した位置を保存します
条件分岐機能を使用	学習カルテ、HotPotatoes除く		回答内容によって設問の出題順序を分岐させることができます 詳しくは「分岐条件を設定する:」をご覧ください
「印刷」ボタンの表示	学習カルテ除く		教材の印刷を許可します
合格点の設定	学習カルテ除く	○	教材のボーダーラインを設定することができます 自習用教材の結果画面および成績一覧画面で可否を確認できます
回答の見直しを許可	学習カルテ、HotPotatoes除く		有効の場合、前回の回答が表示され、回答を編集すると、1 回分の回答として上書き保存されます また、採点が行われたレポート提出や記述式問題では回答できなくなります 無効の場合、教材を実行するたびに別の回答として保存されるので、実行した回数分の回答が保存されます 一問一答では「しない」を設定してください
正答/解説を表示する問題	学習カルテ、HotPotatoes除く	○	成績画面に正解と解説を表示するかどうかを指定できます

オプション	種別固有	リンク教材 変更可	説明
提出されたアンケート /レポートの公開	学習カルテ除 く	○	アンケート結果や提出されたレポート の内容を学生が閲覧できるように設定 できます
ピアレビュー	学習カルテ除 く	○	レポートや記述式問題の解答を学生 同士が評価し合うことができます 「日時制限」設定している場合、提出 期間を過ぎると、ピアレビューが開始さ れます
レポートが提出された 時に通知する	学習カルテ除 く	○	この教材にレポートが提出された時、 提出者本人への受領通知とは別にメ ッセージによる通知を受けることがで きるユーザを設定することができます
ロックパスワード	共通	○	パスワードによって教材編集、成績の 詳細閲覧や採点を制限することができ ます 最大 10 文字までの半角英数記号を 設定できます

- ✦ 導入されているシステムによっては、設定できるオプションが実際の画面と異なる場合があります。
 - ✦ 「リンク教材変更可」に○がついたオプションは、リンク元ではなくリンク教材の設定が反映されます。
 - ✦ 日時制限と制限時間の両方が設定されている場合、先に期限に達する時刻に強制終了します。
 - ✦ 管理者モードで実行された教材も学生モードと同様に学習履歴が記録されます。実行回数とは学習履歴の数であるため、学生モードにおいて、管理者モードでの実行分も含めて実行回数の制限を受けます。
 - ✦ 「利用できるグループを限定する」を設定すると、グループ未所属ユーザは実行できなくなります。特定のユーザも教材を実行できるようにするには「利用できるメンバーを限定する」に設定します。
 - ✦ 「利用できるメンバーを限定する」で指定できる CSV ファイルは、1 行の文字列長が 9KB (9216 文字) までです。限定するユーザが多い場合、カンマ(,)で区切らず、1 ユーザ ID ごとに改行してください。
 - ✦ ページ設定で「単一ページ」を選択した場合、問題ごとの解答時間を計測できません。
- 3 設定が完了したら、[テスト作成:問題編集]ボタン、もしくは[テスト作成:一括取込]ボタンをクリックし、設定を保存します。

問題を作成する

オプションを設定後、[テスト作成:問題編集]ボタンをクリックします。問題編集画面が表示されるので、問題を作成します。

- ✦ 設問情報と成績データの整合性を保つため、学習履歴のある教材を編集する場合は編集する前に学習履歴を削除しなければいけません。学習履歴の削除については「学習履歴を確認する」をご覧ください。

- 問題「手入力」および解説「手入力」、選択肢入力欄に「http://」や「ftp://」で始まる文字列を入力すると、リンクとして表示されます。
- 「問題変換元ファイル」(レポート課題の場合は「課題ファイル」、アンケートの場合は「設問ファイル」と「問題手入力」(レポート課題の場合は「課題手入力」、アンケートの場合は「設問手入力」)、「問題変換元ファイル」と「画像/音声ファイル」、「解説変換元ファイル」と「解説手入力」、それぞれ前者にドキュメントファイル、後者にマルチメディアファイルのように両方に指定しても「問題手入力」や「画像/音声ファイル」、「解説手入力」は表示できません。マルチメディアファイルを使用する場合は「問題変換元ファイル」もしくは「画像/音声ファイル」に指定し、問題文は「問題手入力」に入力してください。
- UTF-8 で表示できる文字を使用してください。絵文字や半角カタカナ、機種依存文字、日本語や英数字以外の文字は正しく表示できないことがあります。
- 一部の Android および iOS 5 以前では仕様のためファイルをアップロードできません。iOS 6 以降では画像ファイルのみを、また iOS 9 以降では iCloud Drive や DropBox、Google Drive、OneDrive などにある各種ファイルをアップロードすることができます。
- HTTP ライブストリーミング(HLS)有効時、取り込まれた MP4(H.264/MPEG-4 AVC, AAC もしくは MP3)動画はストリーミング再生され、ユーザは動画をダウンロードすることができません。なお、無効時に取り込まれた MP4 動画はダウンロード再生されます。

[前のページ] ボタン
 [次のページ] ボタン
 [コピー] ボタン
 [新しい問題を追加] ボタン
 [削除] ボタン
 [変更を保存して終了] ボタン

学習履歴を削除
 配点
 出題分野
 ルーブリックを編集
 問題
 [保存] ボタン
 正答
 解説
 プレビュー

1 「配点」を整数で設定します。「難易度」を 3 段階で、また「出題分野」を任意で設定することができます。

- 小数点を持つ配点は保存できません。
- ルーブリックを使ってレポート採点を行うには「ルーブリックを編集」をクリックします。なお、作成方法については「レポートや記述式問題をルーブリックで評価する:」をご覧ください。
- 実施済みの教材の配点を変更する場合、レポート提出や記述式設問以外の自動採点を行う問題スタイルの設問では、得点に反映されません。得点を再計算するには問題ご

との成績表示/再採点画面の[再採点]ボタンをクリックしてください。「問題ごとの詳細な成績を確認する」をご覧ください。

- 2 「問題」のテキスト欄に本文を入力するか、問題変換元ファイルを指定します。変換方法を指定します。また、画像ファイルや添付資料ファイルを添付することもできます。

✎ 画像/音声ファイルにサイズが 401×481 ピクセル以上の画像を指定し、HTML 変換すると、縮小表示されます。この場合、オリジナルサイズで表示するためのリンクが表示されます。

- 3 回答方法および正解を指定するために「正答」エリアを編集します。「問題スタイル」と「選択肢数」、正解を設定してください。記入問題では正解に幅を持たせるためにオプションを設定することができます。

スタイル名	一括取込での「style」の値	説明
単数選択式	radio	複数の選択肢の中から 1 個の選択肢を正解とする択一問題を作成することができます
複数選択式	checkbox tfcheckbox	複数の選択肢の中から複数の選択肢を正解とする選択問題を作成することができます（部分点はありせん） 「選択肢ごとに正誤を採点する」オプションを有効にすると、各選択肢を正誤問題として扱います（一括取込では style カラムに「tfcheckbox」を指定します）
単語/数値入力	wordinput	最大 500 文字の回答を入力できる穴埋め問題を作成できます 除外条件として英字の大文字小文字や全角半角英数字の区別、全角半角スペースの無視を考慮することもできます 「全角半角英数字の違いを無視する」を指定した場合、ハイフンとマイナス、長音符のように類似した文字は正解となります 正答文字列を「 or 」(or の前後に 1 つずつ半角スペースが必要です) でつなげることで別解を設定できます 正解の選択肢数に従って部分点があります
数値入力(精度設定可)	numberinput	正答と完全一致していなくても許容誤差の範囲内ならば、正解として採点される数値問題を作成することができます 正答数値は 10 の対数に E を用いて表すことができます ただし、誤差では E や負の値は設定できません 全角と半角は区別されません 正解の選択肢数に従って部分点があります
記述式	text	字数制限を利用した論述問題を作成できます 授業管理者が採点する必要があります 解答は半角・全角スペース、タブ文字、改行も文字としてカウントします 解答に含めるキーワードを正規表現で指定できるため、メタキャラクタは¥でエスケープする必要があります
レベル選択	level	段階ごとの選択肢の中から選択させるようなアンケート教材のための問題スタイルです
ドロップダウン選択肢	dropdown	複数の問いに選択肢の中から 1 つずつ選択させる穴埋め問題を作成できます 正答番号を「 or 」(or の前後に 1 つずつ半角スペースが必要です) でつなげることで複数の選択肢を正解とすることができます 正解の選択肢数に従って部分点があります
選択肢のみ	line	問題文中に選択肢を記述する場合に用いることができます

スタイル名	一括取込での「style」の値	説明
レポート提出	report	ファイルを提出させることができます デフォルトでは提出できるファイルの種類に制限はありませんが、特定の種類のみを受け取るように設定することもできます 類似レポート検知機能を使用する場合、「Word」(DOCXのみ)か「TEXT」のみに制限します(詳しくは「似かよったレポートを検出する」をご覧ください)
マッチング	matching	A 群と B 群の選択肢をそれぞれ対応させる問題を作成できます 正解の選択肢数に従って部分点があります
順序付け	ordinal	整序問題を作成できます 正解の選択肢数に従って部分点があります
表形式(1)	matrix	表を使ったマッチング問題を作成できます 正解の選択肢数に従って部分点があります
表形式(2)	rubric	ルーブリックを使ったマッチング問題を作成できます 正解の選択肢数に従って部分点があります

- ✖ 部分点(オプション「選択肢ごとに正誤を採点する」有効時含む)は配点÷選択肢数×正解数で計算されます。なお、小数点以下の部分点は切り捨てます。
 - ✖ 問題をコピーした時、正解は継承されません。選択問題(レベル選択除く)では自動的に採点されるため、必ず正解を指定してください。
 - ✖ アンケート教材で選択肢以外の回答を入力させたい場合、選択肢文字列に「その他」と入力します。なお、選択肢問題で別解を答えさせる問題を作るには、単数選択式で選択肢文字列に「正解なし」などを入力します。次に、その選択肢を学生が回答した時、単語/数値入力もしくは記述式の設定間へ移動するよう条件分岐機能を設定します。
 - ✖ 一部の Android および iOS 5 以前では仕様のためファイルをアップロードできません。iOS 6 以降では画像ファイルのみを、また iOS 9 以降では iCloud Drive や DropBox、Google Drive、OneDrive などにある各種ファイルをアップロードすることができます。
 - ✖ 表形式(2)で CSV ファイルを読み込ませる時、フィールド内(囲み文字「」)の範囲にエスケープ文字「¥」があると、学習支援システム(WebClass)へ正常に取り込めないことがあります。
 - ✖ 『一括取込での「style」の値』については「テスト/レポート/アンケート教材を一括で取り込む」をご覧ください。
- 4 「解説」のテキスト欄に本文を入力するか、解説変換元ファイルを指定します。変換方法を指定します。
 - 5 [保存]ボタンをクリックすると、編集内容や採点ルーブリックがプレビューに反映されます。問題や解説、正解が正しく入力できているか確認してください。次の問題を作成するには[新しい問題を追加]ボタンをクリックします。
 - ✖ 編集された問題は[保存]ボタンや[変更を保存して終了]ボタンをクリックした時以外にも[新しい問題を追加]ボタン含むページ移動時にも逐次保存されます。
 - ✖ PDF ファイルが正しく表示されない、もしくは[印刷]ボタンから印刷できない場合は、リンクをクリックし、別ウィンドウで開き直してから、再度試してください。
 - 6 出題順序を変更するには、目次の「ページ(配点)移動」で移動先のページ番号を指定します。なお、ページを削除するには[削除]ボタンをクリックしてください。

- ✦ オプション設定画面で「ランダム出題」が有効になっている場合、[問題のグループ化] ボタンから関連するグループをまとめることができます。詳しくは「問題をグループ化する」をご覧ください。
- ✦ オプション設定画面で「条件分岐機能を使用する」となっている場合、[分岐条件設定] ボタンから出題順序を回答に従って制御することができます。詳しくは「分岐条件を設定する:」をご覧ください。

7 問題作成を終了するには[変更を保存して終了]ボタンをクリックします。

レポートや記述式問題をルーブリックで評価する：

ルーブリックは主観的に評価しがちなレポート課題や記述式問題における採点を明確な判断基準によって絶対評価できるよう支援します。

- ルーブリックで評価できる教材の種別は、レポートや記述式問題の採点ができる「自習用」、「試験」、「レポート」です。以下の説明は上の種別を選択しているものとして解説しています。

ルーブリックを使った採点を行うには、問題編集画面「配点」の「ルーブリックを編集」リンクをクリックします。ルーブリックの編集画面で直接入力するか、事前に作成した CSV ファイルを使ってルーブリックを作成することができます。

- CSV ファイルでルーブリックを作成する場合、1 行目の各セルに尺度の内容を、1 列目の各セルに評価基準の内容を、2 行 2 列目以降の各セルに評価基準の内容を入力します。なお、配点は CSV ファイルでは指定できません。
- CSV ファイルのセル内で改行しないでください。

[ルーブリックの削除]ボタン
CSV ファイルの読み込み

ルーブリックのサイズ

評価基準

尺度
配点

評価基準

保存

ルーブリックの編集

ルーブリックを CSV ファイルから読み込む ファイルを選択 選択されていません

送信

☐ 回答時にルーブリックを表示する

☐ 採点結果にルーブリックを表示する

配点: 8

x 2 サイズ変更

	Excellent	Good	Basic	Poor
	4	3	2	1
Understanding	Have an excellent understanding of the whole lesson.	Have a good understanding of the lesson.	Have an understanding of the basic elements	Have a poor understanding.
Grammar and spelling	0 error	1-2 errors	3-5 errors	5 or more errors

- 1 「回答時にルーブリックを表示する」または「採点結果にルーブリックを表示する」、もしくは両方にチェックを入れてルーブリックを表示するタイミングを選択します。
- 2 「ルーブリックのサイズ」に「行数」と「列数」を指定し、[サイズ変更]ボタンをクリックします。
- 3 ルーブリックの各項目を入力します。編集が完了したら、[保存]ボタンをクリックします。

- 配点の入力欄に点数を入力することで、配点を設定することができます。

問題をグループ化する：

関連した問題がバラバラに出題されてしまうのを防ぐために問題群をグループ化してまとめることができます。この機能を利用するには、オプション設定画面でランダム出題を有効にし、抽出数を未設定にします。グループ化するには問題編集画面のメニューで「問題のグループ化」ボタンをクリックします。

問題のグループ化

関連のある問題群をグループ化します。ランダム出題時に関連問題がばらばらになるのを防ぎます。

- ※ 関連のある問題に同じ番号をつけていきます。
- ※ 空白またはゼロになっている部分はグループ化されません。
- ※ 負の値を指定するとそのブロック内での順番も維持します。
- ※ グループ化される問題は連続していなければなりません。
- ※ グループ化は最大9階層まで持たせることができます。

右の例の場合group1で問1～問3、問4～問5までの二つのブロックに分けられていて、出題時にこれらのブロックの順番がランダムに入れ替わります。group2で問1～問3には0が指定されていますので、group1で指定されたブロックの範囲内で3問がランダムに出題されます。問4、問5には負の値が指定されていますので、順番を維持したままgroup1で指定されたブロック内でランダムに出題されます。

出題順の例(5,6の順番は変わらないことに注意) [5,6,4,3,2,1] [4,5,6,2,1,3]
[3,1,2,5,6,4]

	group1	group2	group3	group4	group5
Q.1	1	-1	0	0	0
Q.2	1	-1	0	0	0
Q.3	1	-1	0	0	0
Q.4	0	0	0	0	0
Q.5	0	0	0	0	0
Q.6	2	0	0	0	0
Q.7	2	-2	0	0	0
Q.8	2	-2	0	0	0
Q.9	2	0	0	0	0
Q.10	0	0	0	0	0

Q.No.	group1	group2
Q.1	1	0
Q.2	1	0
Q.3	1	0
Q.4	2	0
Q.5	2	-1
Q.6	2	-1

[シミュレーション] ボタン

[このウィンドウを閉じる] ボタン

[変更を保存して終了] ボタン

シミュレーション

このウィンドウを閉じる

変更を保存して終了

- グループ化する問題群に同じ番号を入力します。空白や「0」が入力された問題はグループ外もしくはグループ内での出題順序がシャッフルされます。
 - 🔴 同じグループの問題は、設問番号が連続していなければいけません。
 - 🔴 グループ内で出題順序を固定するには、異なる group 列で設定したグループ番号の負の値を設定します。
- 「シミュレーション」ボタンをクリックし、問題がなければ、「変更を保存して終了」ボタンをクリックします。

分岐条件を設定する:

アンケートや学習の到達度ごとに問題を出題したい場合、テスト/レポート/アンケート教材のオプション設定画面で「分岐条件機能を使用する」に設定します。問題編集画面に[分岐条件設定]ボタンが表示されるので、クリックしてください。

- 条件分岐機能はランダム出題や選択肢並べ替えオプションと併用できません。
- オプション設定画面で「前の問題に戻れないように設定しない」および「回答の見直しを許可しない」に変更した場合、教材を終了できなくなってしまう分岐条件を設定する必要があります。なお、教材実行時、[前のページ]ボタンをクリックすると、直前に回答した設問に戻り、回答をリセットします。
- 最後に出題する設問には分岐条件を設定できません。
- 問題を編集した場合は、分岐条件設定をやり直してください。

分岐条件設定

このウィンドウを閉じる

問題

問題文

必須

分岐条件

Q.1	ニュートン(10)のS部を単位による表し方を調べ。	☒	1. 回答 = X の時 Q.7へ 2. の時
Q.2	次のうち非保存力であるものはどれか。複数の中から2つ答えよ。	☒	1. 回答 = O の時 Q.8へ 2. の時
Q.3	【1】水平な床にばね定数のばねS1とS2を横たえて左端を固定し、右端にそれぞれ質量mの物体をつけた。これらばねが単振動するときばねS1の周期はばねS2の周期の何倍か。【2】水平な床にばね定数のばねS1とS2を横たえて左端を固定し、右端には質量mの物体をつけた。x=0において、自然長よりそれぞれΔx(Δ>0)だけ押し下げて手を離して単振動させるときばねS1の振動数はばねS2の振動数の何倍か。回答例 1/2倍、2倍	☒	1. 回答 = O の時 Q.6へ 2. の時
Q.4	次の問題を解くために必要なことをキーボードを用いて記し、加速度で拾い上げよう。ただし、空気抵抗は考えないものとする。重力加速度g、キーボード:速度分解y成分の速度、x成分の速度	☐	1. の時
Q.5	以下の問いにおいて重力加速度をとする。【1】鉛直方向上向きを軸の正の向きとし、位置yを基準点にとるとき、位置y=0における質量mの物体の重力によるポテンシャルエネルギーを答えよ。【2】鉛直上向きに投げ上げられた質量mの物体が、最もy=yalに達した直下でy=0にあるとき、重力によるポテンシャルエネルギーを答えよ。ただし、鉛直上向きを、軸の正の向きとし、位置y=0を基準点とする。【3】片側を壁に固定されたばね定数のばねの他端に質量mの物体が固定されているばねが伸び向きを軸の正の向きとし、ばねの自然長の位置y=0を基準点にとるとき、位置y=0におけるばねの弾性力によるポテンシャルエネルギーと位置y=0におけるばねの弾性力によるポテンシャルエネルギーの関係を書け。	☒	1. 回答 = O の時 Q.8へ 2. の時
Q.6	静止物を弾性的に質量Δmの人間が宙空間に懸かっている。質量Δmの物体を速度vで投げ、この反動で人間は動き出した。このとき人間の速度はいくらか。以下の選択肢の中から答えよ。1.V=Δmv/M 2.V=-Δmv/M 3.V=Δmv/(M-Δm) 4.V=-Δmv/(M-Δm)	☐	1. の時 2. の時
Q.7	次の語句から関連する言葉を並び正しい語句を完成させよ。	☒	1. 回答 = O の時 Q.10へ 2. の時
Q.8	エネルギーの移動(やりとり)は、大きな重し(棒)を高い位置に持ち上げた。その棒を等速の速さで下向きに置き、滑らせた。滑らせた棒は摩擦によって止まりました。その滑らせた棒でモーターを動かして発電しました。このエネルギーの移動(やりとり)を説明せよ。	☐	1. の時 2. の時
Q.9	次の表で正しいと思われる所にチェックを入れ、ただし、チェックが入らない場合があるので注意すること。	☐	1. の時 2. の時
Q.10	次の表の中で正しいものにチェックを入れよ。S=時間 t(v)=速度 Δv=速度 M=質量 a=加速度 F=力 m=距離 W=仕事	☐	最後の設問には設定できません。

保存

このウィンドウを閉じる

[保存]ボタン

- 必ず回答する必要がある設問の「必須」にチェックを入れます。未回答の場合は次の設問に進めません。
- 「回答」ではどの選択肢を回答したか、また「結果」では正解かどうかで指定する設問に進むことができるか設定します。無条件で指定する問題番号に進めることもできます。
- 設定が完了したら、[保存]ボタンをクリックします。

テスト/レポート/アンケート教材を一括で取り込む

学習支援システム(WebClass)は多くの問題を含むテスト/レポート/アンケート教材を取り込むことができます。まず、取り込む教材ファイルを用意します。アカウントメニューの中にある「マニュアル」リンクをクリックし、サンプルファイルをダウンロードしてください。

- 一括取り込みによって作成されたテスト/レポート/アンケート教材を再編集するには、オプション画面の[テスト作成:問題編集]ボタンをクリックし、個別に問題を編集します。

ダウンロードできるサンプルファイル	説明
ファイルを使用する場合	question_sample.zip は問題文や解説文の素材となる DOC ファイルと設問を作成する list.csv で構成されています
テキストだけで作成する場合	question_text.csv に問題文や解説文、設問形式を指定します

- HotPotatoes ファイルを取り込む場合はテスト/レポート/アンケート教材のオプション設定画面で種別に HotPotatoes(試験)もしくは HotPotatoes(自己学習)を選択し、[テスト作成]ボタンをクリックしてください。

- question_text.csv もしくはサンプルデータに含まれる list.csv を Excel などのエディタで開くと、入力例が示されているので、それを元に編集します。

フィールド	必須	説明
point	△	種別が自習もしくは試験の時、配点を指定できます
area		出題分野を入力します
difficulty		種別が自習もしくは試験の時、難易度を A(難問)、B(標準)、C(易しい)のどれかで指定できます
style	○	問題スタイル (radio、checkbox、tfcheckbox、wordinput、numberinput、text、level、dropdown、line、report、matching、ordinal、matrix、rubric) を指定します
answer	△	text、level、report 以外の問題スタイルでは正解を指定します 正解が複数ある場合、「X と Y」は「X!#Y」と、「X または Y」は「X or Y」と入力します numberinput では JSON 形式で「{"answer":["(1)の正答数値","(2)の正答数値","(3)の正答数値"],"error":["(1)の誤差(%)","(2)の誤差(%)","(3)の誤差(%)"]」のように指定します
question	○ (どちらか)	問題変換元ファイルを指定しない場合は question フィールドを用いて、問題文を入力します 問題文には HTML タグを使用できます
description	△ (どちらか)	種別が自習もしくは試験で解説変換元ファイルを指定しない場合は description フィールドを用いて、解説文を入力します 解説文には HTML タグを使用できます 「選択肢並べ替え」オプションが有効の時、選択肢ごとに「!#」で区切って解説をつけることができます
description_file		種別が自習もしくは試験で解説変換元ファイルを指定する場合、description_file フィールドにファイル名を指定します
option1~50	△	選択肢を持つ問題スタイルでは、必要あれば option フィールドを追加し、選択肢を入力します 問題スタイル level や line のように空白の選択肢を作成するには、「dummy」を指定します また matrix では (行数+列数-1) 個の option フィールドに「各行の名前」、「最終行%#%1 列目」、「各列の名前」と入力します

- CSV ファイルの 1 行目には、フィールド名を必ず入力してください。

- ✦ 一括で取り込むファイルやフォルダの名前は、半角英数字で指定してください。1 つのフィールドに指定できるファイル数は 1 個までです。
- 2 素材ファイルと共に取り込む場合、list.csv および list.csv で指定した素材ファイルを同一のフォルダに置き、ZIP 形式で圧縮します(テキストだけで作成する場合は圧縮する操作は必要ありません)。
- 3 テスト/レポート/アンケート教材のオプションを設定し、[テスト作成:一括取込]ボタンをクリックします。
- 4 1 および 2 で作成した一括取り込み用ファイルをテストの一括取り込み画面で指定し、[読み込み]ボタンをクリックします。「確認画面へ」リンクをクリックし、取り込んだ問題を確認します。

ピアレビューを用いる教材を作成する

学習支援システム(WebClass)には、提出されたレポートや記述式問題の解答を学生同士で採点し合う仕組み(相互評価)として「ピアレビュー」という機能があります。学生は誰の解答を評価しているのか、また誰に評価されているのか分からないようになっているため、客観的に評価することができます。

- ✦ 解答していないユーザは、ピアレビューの評価者および評価対象にはなりません。
 - ✦ 授業管理と TA は学生モードでピアレビューで評価でき、平均点に反映されます。ただし、授業管理者や TA の解答に対して評価はできません。
 - ✦ レポート提出もしくは記述式の設問が複数ある場合、すべての設問に解答していなければ、ピアレビューの評価者になることができません。
 - ✦ 代理提出のためブランクレコードを生成した解答は、ピアレビューの評価対象とはなりません。対象とするには生成したブランクレコードの解答のコメント「このレコードは '授業管理者のユーザ ID' によって生成されました。」を削除してください。リンク教材でブランクレコードを生成されたユーザは評価者になりません。
- 1 テスト/レポート/アンケート教材を新規作成します。オプション画面でタイトルを入力し、種別から「自習用」、「試験」、「レポート」のうちいずれかを選択します。オプション設定については「テスト/レポート/アンケート教材を作成する」と併せてご覧ください。
 - 2 ピアレビューを開始するタイミングをオプション設定画面「教材実行時の制限」の「日時制限」で設定します。
 - ✦ デフォルト(日時制限が無効)では回答した学生から順番に評価対象に割り当てられ、ピアレビューが開始されます。そのため、評価対象と評価対象者の組み合わせが偏ることがあります。
 - ✦ ピアレビューを開始するタイミングを揃えるには、日時制限を設定します。期限を過ぎると、日時制限期間中に解答した学生の中で評価対象が割り当てられ、ピアレビューを始めることができるようになります。
 - 3 オプション設定画面「採点・結果表示」で「回答の見直しを許可」を「する」に設定します。
 - 4 オプション設定画面「他の授業メンバーへ回答を公開する」で「ピアレビュー」を有効にし、各学生に割り当てる評価対象の数を入力します。

- 🔥 ピアレビューを開始してから日時制限や割り当て数を変更すると、均等に割り当てることができなくなる可能性があります。

5 「テスト作成:問題編集」ボタンをクリックし、レポート提出もしくは記述式問題を作成します。
詳しくは「問題を作成する」をご覧ください。

ピアレビューができるようになると、学生の教材一覧画面で対象となる教材に「他学生のレポートを評価する」が、教材の詳細画面で対象となる教材に「メンバーのレポートを評価する」が表示されます。

ピアレビューを実施する:

上で作成した教材に解答するよう促します。解答されると、ユーザの教材の詳細画面に「メンバーのレポートを評価する」が表示されます。そのリンクをクリックすると、レポート/記述式問題の採点画面を表示されるので、授業管理者がレポート採点を行うのと同様の操作でランダムに割り当てられた解答を採点することができます。

- 🔥 日時制限が設定されている場合、期限を過ぎると、教材一覧画面で対象となる教材に「他学生のレポートを評価する」が、教材の詳細画面に「メンバーのレポートを評価する」が表示されます。

[採点]ボタン

問題

解説

提出されたファイル

点数

コメント

[保存]ボタン

- 1 評価対象者の[採点]ボタンをクリックすると、採点フレームが表示されます。
- 2 提出されたファイルをダウンロードし、内容を確認します。
- 3 レポートへのコメントと点数を入力し、[保存]ボタンをクリックします。
- 4 残りのメンバーのレポートも評価します。

ピアレビューされたレポートの評価を確認する:

ユーザが提出したレポートがどのように評価されているのか確認するには、ピアレビュー教材の公開状況画面に表示される「テスト形式オプション」の「ピアレビュー」で「開く」リンクをクリックします。ピアレビュー集計結果画面には集計期間におけるレポート提出者とレビューの結果

が一覧表示されます。また、採点されていない X を含めて評価の詳細を確認するには「X で評価されたデータを集計に反映する」のチェックボックスにチェックを入れます。

集計期間
採点の放置

[CSV ダウンロード] ボタン

表示切替

[再集計] ボタン
X で表示されたデータを集計に反映する

各ユーザの平均得点分布

レポート提出者一覧表

氏名	ユーザID	学籍番号	出題番号	レビュー人数	平均得点	最大得点	最小得点	評価	各レビュー得点
Student 01	student01	123456		3	6.7	8	6	詳細	8 6 6
Student 02	student02	123457		2	7.5	8	7	詳細	7 8
Student 03	student03	123458		3	5.0	6	4	詳細	5 6 4
Student 04	student04	123459		3	5.7	6	5	詳細	6 5 5
Student 05	student05	123460		3	5.7	8	4	詳細	8 5 4
Student 06	student06	223456		3	6.0	7	5	詳細	7 6 5
Student 07	student07	223457		3	7.0	8	6	詳細	6 7 8
Student 08	student08	223458		3	4.3	6	3	詳細	3 6 4
Student 09	student09	223459		3	6.7	7	6	詳細	7 6 7
Student 10	student10	223460		0	-	-	-	詳細	
平均得点					6.1				

レポート提出者一覧表の「各レビュー得点」および割当状況を確認するには、表示切替の「一覧表と割当」ボタンをクリックします。割り当てられたままの評価対象は「採点が放置されているレポートを再割当」ボタンをクリックして再割り当てすることができます。

各ユーザの「詳細」リンクをクリックすると、レビューコメントやループリックの内訳などのレビューの詳細を確認することができます。不適切なレビューは「削除」ボタンをクリックすることで、削除し、再割り当てすることができます。

既存の問題から教材を生成する

問題抽出機能を使うことで、テスト/レポート/アンケート教材の設問から教材を生成することができます。今までに作成してきた問題からランダムに設問が抽出されるので、資格試験などの演習教材を作成したり、試験問題作成の負担を軽減したりできます。

- 問題抽出機能を使うには、授業にテスト/レポート/アンケート教材を予め作成しておく必要があります。
- 問題を抽出する条件として、「出題分野」や「難易度」を用いることができます。

教材 新規作成画面の問題抽出機能リンクをクリックしてください。リンクが表示されない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

このウィンドウを閉じる

抽出元テスト名

[この条件で抽出する] ボタン

出題分野情報

抽出条件

[この条件で抽出する] ボタン

抽出結果

出力テスト名

[問題を生成する] ボタン

- 抽出元テスト名から抽出対象を選択し、[これらの教材を選択する] ボタンをクリックします。
- 抽出条件を指定し、[この条件で抽出する] ボタンをクリックします。
 - 最大 20 種類の条件が指定できます。
 - 問題抽出数は必ず指定してください。
- 抽出結果を確認後、出力テスト名を入力し、[問題を生成する] ボタンをクリックします。

- ✦ 教材は種別が「自習用（成績公開）」、アクセス制限が「教材一覧で表示する」として生成されます。必要に応じて、生成された教材のオプション設定を変更してください。
- ✦ 生成される教材の各配点は、抽出元の設問の配点が設定されます。必要に応じて、生成された教材の各配点を変更してください。

LTI ツールと連携する

LTI(Learning Tools Interoperability)とは、LMS などと外部システムを相互連携させるために国際標準化団体 IMS Global Learning Consortium が策定した技術標準規格です。学習支援システム(WebClass)では LTI 1.1, 1.3、Advantage に準拠し、動画配信システムや Web ミーティングなどの外部システムとシームレスに利用したり、外部システムから成績などを取得したりできます。

教材一覧画面で「教材を作成する」ボタンをクリックし、教材 新規作成画面を表示します。「LTI ツール」をクリックし、教材を作成します。機能を有効にするには、システム管理者にお問い合わせください。

- 1 「タイトル」に教材名を入力し、登録した LTI ツールを「利用可能ツール」から選択します。

オプション	説明
利用可能ツール	既存の LTI 教材では LTI ツールを変更する事はできません
データの送信を制限する	氏名やメールアドレスを LTI ツールに送信させたくない場合に制限させることができます ただし、接続先でのアカウント自動生成や、接続に失敗する可能性があります
氏名の環境依存文字を置き換える	LTI ツールに送信する氏名に環境依存文字が含まれる場合、「*」に置き換えます サロゲートペアや絵文字など、UTF-16 で 4 バイトとなる文字が変換されます LTI ツールがこれらの文字を正常に扱えない場合に設定します

- 2 テスト教材と同様に他のオプションを設定し、[変更を保存して終了]ボタンをクリックします。

LTI ツールを設定する

連携する LTI ツールごとに連携設定を登録するには、教材 新規作成画面で「LTI 設定画面を開く」をクリックします。機能を有効にするには、システム管理者にお問い合わせください。

登録済 LTI ツール

[新規登録] ボタン

連携する LTI ツールごとに連携設定を登録します。LTI 1.3 ツールと連携する場合は、LTI ツールに学習支援システム (WebClass) のクライアント ID などを設定します。設定に必要な情報は LTI ツール一覧の [詳細] ボタンをクリックして確認します。設定方法は LTI ツールのマニュアルをご確認ください。

オプション	必須	LTI バージョン	説明
ツール名	○	共通	授業管理者が教材を作成する際にツール名が表示されます
説明		共通	LTI ツール設定画面で表示するツールの説明を入力します
LTI バージョン		共通	LTI ツールの LTI バージョンを選択します
ツール URL	○	1.0	LTI ツールから提供された接続先の URL を入力します 授業管理者によるツール URL 設定を許可した場合入力の必要はありません
コンシューマ鍵		1.0	コンシューマ鍵は接続先の LTI ツールが接続元を一意に識別するための値です コンシューマ鍵が必要かどうか設定や提供方法などは LTI ツールによって異なります
秘密鍵		1.0	秘密鍵は安全な接続を確立するために必要な値です 秘密鍵が必要かどうか、設定や提供方法などは LTI ツールによって異なります
公開鍵の取得方法		1.3	LTI 1.3 による接続に必要な公開鍵の取得方法を選択します 公開鍵取得 URL は「公開鍵セット URL」に、ツールから提供された公開鍵は内容を「公開鍵」に設定します

オプション	必須	LTI バージョン	説明
ログイン URL	○	1.3	LTI 1.3 による接続を開始するための URL を設定します 未指定の場合、ツール URL が参照されます
リダイレクト URL	○	1.3	LTI 1.3 による接続完了後にリダイレクトする URL を設定します 未指定の場合、ツール URL が参照されます
授業ユーザ情報の共有		1.3	LTI Advantage のサービス「Names and Role Provisioning Services」を有効化します LTI ツールが授業からユーザ情報の取得を許可します
ディープリンク		1.3	LTI Advantage のサービス「Deep Linking」を有効化します Deep Linking をサポートする LTI ツールから LTI 教材名やツール URL の取得が可能になります
ディープリンク URL		1.3	Deep Linking 接続時の URL を設定します ツールから指定があった場合は入力してください
ツールによる成績の更新		1.3	LTI Advantage のサービス「Assignment and Grade Services」を有効化します LTI 教材が LTI ツールから成績の更新を許可します
ツールの表示		共通	授業管理者が LTI 教材として利用できるようにするか選択します
カスタムパラメータ		共通	LTI ツールがカスタムパラメータを指定する場合、接続時に追加でパラメータを送信します 値を入力する時は 1 行ごとに 「custom_tool_id = 1」、 「custom_tool_name = sample」のようにキーと値を入力し、指示がなければ、空欄にします

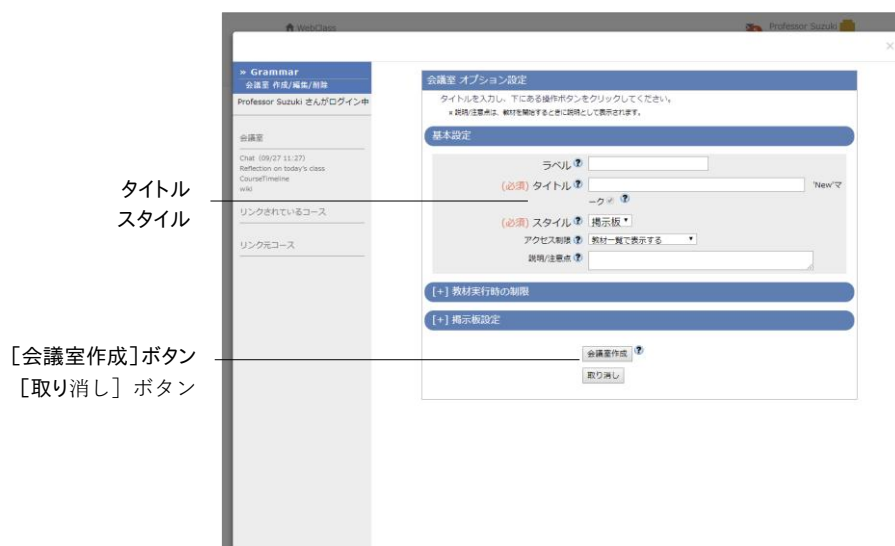
会議室について

グループ学習として会議室を使うことができます。会議室の種類には、授業内掲示板や Wiki、チャットがあります。目的やテーマに適した会議室教材を作成できます。

授業内掲示板はテーマに沿って意見や質問などを投稿し、議論する場として適しています。Wiki では簡単にウェブページを作成することができます。リアルタイムで会話するにはチャットを用います。

会議室教材を作成する

教材一覧画面で[教材を作成する]ボタンをクリックし、教材 新規作成画面を表示します。「授業内掲示板」、「Wiki」、「チャット」のいずれかをクリックし、会議室設定画面を表示します。



1 必須であるオプション「タイトル」に教材名を入力します。

🚫 同じタイトルを持つ教材を複数作成することはできません。

2 必要であれば、他のオプションも設定します。

オプション	スタイル固有	リンク教材変更可	説明
ラベル	共通	○	複数の教材をラベルでまとめて表示することができます
タイトル	共通	○	画面に表示される会議室教材のタイトルを入力します
スタイル	共通		授業内掲示板、Wiki、チャットから選択できます
アクセス制限	共通	○	ユーザやゲストユーザに教材を公開するかどうかを選択できます 非表示にされた教材はユーザの成績画面に表示されません
説明/注意点	共通	○	教材を実行する際に表示されます
日時制限	共通	○	ユーザが教材を開始できる期間を設定できます ユーザは学習支援システム (WebClass) サーバ時刻で開始日時の 00 秒から終了日時の 59 秒まで教材を開始することができます 終了日時を超過した実行中の教材を強制的に閉じたり投稿を禁止したりはできません
利用できるグループを限定する	共通	○	授業メンバーのうち教材を実行できるグループを制限することができます このオプションを利用するにはグループ設定を行わなければいけません (詳しくは「授業メンバーをグループに割り振る」をご覧ください)
利用できるメンバーを限定する	共通	○	授業メンバーのうち教材をできるユーザを制限できます ワイルドカードを用いた指定と CSV ファイルによる一括指定ができます
IP アドレス制限	共通	○	教材にアクセスできる端末の IP アドレスを IP-IP、IP/BIT、IP/MASK 形式で指定することができます (完全一致) また、ワイルドカードを用いることもできます
実行パスワード	共通	○	パスワードによって実行できる教材を制限することができます 最大 10 文字までの半角英数記号を設定できます
デフォルトの表示モード	授業内掲示板のみ		授業内掲示板を開始した時やメニュー「トップ」をクリックした時、スレッド表示もしくはツリー表示で開くかを設定できます
メッセージの投稿を許可	授業内掲示板のみ		権限ごとに投稿を許可するかどうか設定できます
匿名での投稿を許可 投稿者名を匿名にする	授業内掲示板、チャット		許可すると、ユーザが無記名投稿を選択できるようになり、無記名投稿した場合、学生などの User 権限を持つユーザには投稿者名が表示されません 許可した場合、その教材の設定を変更することはできません
投稿されたメッセージを'保留'にする	授業内掲示板のみ		有効にすると、新規で投稿されたメッセージは保留となり、授業内掲示板に表示されません
「印刷」ボタンの表示	授業内掲示板、Wiki		教材の印刷を許可します

- ❖ 導入されているシステムによっては、設定できるオプションが実際の画面と異なる場合があります。
- ❖ 「リンク教材変更可」に○がついたオプションは、リンク元ではなくリンク教材の設定が反映されます。
- ❖ 「利用できるグループを限定する」を設定すると、グループ未所属ユーザは実行できなくなります。特定のユーザも教材を実行できるようにするには「利用できるメンバーを限定する」に設定します。
- ❖ 「利用できるメンバーを限定する」で指定できる CSV ファイルは、1 行の文字列長が 9KB (9216 文字) までです。限定するユーザが多い場合、カンマ(,)で区切らず、1 ユーザ ID ごとに改行してください。
- ❖ 授業内掲示板やチャットで「匿名での投稿を許可」を「する(投稿者と授業管理者に公開)」に設定した場合、Author 権限では投稿者名が表示されます。先生が学習支援システム(WebClass)画面を学生に見せる場合は、学生モードに切り替えてください。

3 設定が完了したら、[会議室作成]ボタンをクリックし、オプション設定を保存します。

授業内掲示板の管理者モードについて

授業管理者は授業内掲示板の記事に対して表示状態を変更したり、全記事および添付ファイルをダウンロードしたりすることができます。授業内掲示板教材を開始し、授業内掲示板メニュー「管理者モード」をクリックすると、管理者モード画面が開き、すべての記事が表示されます。

全投稿をダウンロードする

管理者モード

表示状態

状態	投稿者	投稿日	タイトル	メッセージ	添付ファイル
表示中	Professor Suzuki	2017-08-09 14:25:15	Reflection on today's class	What did you learn today? What did you not understand?	
表示中	Student 01	2017-08-09 14:28:30		I didn't understand the function of pronouns. I have a book that explains the function of pronouns. I think you'll find it very easy to understand. Do you want to borrow it? I learned the difference between common nouns and plural nouns.	
表示中	Student 02	2017-08-09 14:30:18			
表示中	Student 04	2017-08-09 14:32:17			
表示中	Professor Suzuki	2017-08-09 14:35:20	How to classify	You may find this useful.	

記事は「投稿者」や「投稿日」、「タイトル」、「添付ファイル」でソートできます。また、添付ファイルもダウンロードすることができます。

授業内掲示板のすべての記事と添付ファイルをダウンロードする:

「全投稿をダウンロードする」リンクをクリックすると、すべての投稿内容が記載された CSV ファイルと添付ファイルをまとめた ZIP ファイルでダウンロードすることができます。

授業内掲示板に投稿された記事を非表示にする:

不適切な投稿があった場合などのために記事の表示状態を変更することができます。

状態	ユーザへの見え方
表示	誰もが記事閲覧することができ、投稿者は編集することができます
非表示	「削除」と同様に授業管理者を含め誰も記事閲覧することはできません
保留	記事は授業管理者と投稿者のみ閲覧することができ、投稿者は編集することもできません

チャットの会話をダウンロードする

チャット画面の[+]ボタンをクリックし、「会話記録のダウンロード」から添付ファイルを含む全投稿をダウンロードすることができます。

ユニットについて

ユニットは教材をいくつか組み合わせ、ユーザが手順に従って取り組めるようになっています。組み合わせる教材は会議室や資料、テスト/レポート/アンケート教材から自由に構成できます。

例えば、会議室教材と資料教材を組み合わせた場合は、授業で用いた資料教材の内容について、グループ学習を行わせることができます。

また、資料教材とテスト/レポート/アンケート教材を組み合わせた場合は、資料教材を使って講義を行った後、テスト/レポート/アンケート教材を使って確認テストを行うこともできます。

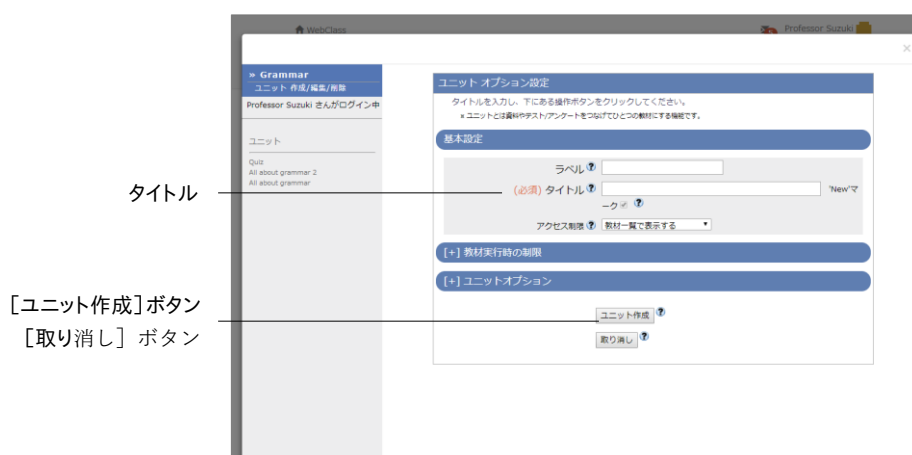
さらに、テスト/レポート/アンケート教材に合格点が設定されている場合、その教材を学習順序が固定されたユニットに組み込むと、その教材で合格点を満たすまで、次の教材に進むことができなくなります。そのため、学習進度に合わせてユニット教材を進めることができます。

- ユニットの学習履歴はユニットを開始した時点から教材一覧に戻るまでの時間が記録され、教材の開始確認画面を開いている時間も利用時間に含みます。ユニット内の教材は開始確認画面を開いている時間はその教材の利用時間に含みません。

ユニット教材を作成する

教材一覧画面で[教材を作成する]ボタンをクリックし、教材 新規作成画面を表示します。「ユニット」をクリックし、ユニット オプション設定画面を表示します。

- ユニット教材を作成するには、会議室や資料、テスト/レポート/アンケート教材（学習カルテ除く）をあらかじめ作成しておかなければいけません。



1 必須であるオプション「タイトル」に教材名を入力します。

🔴 同じタイトルを持つ教材を複数作成することはできません。

2 必要であれば、他のオプションも設定します。

オプション	説明
ラベル	複数の教材をラベルでまとめて表示することができます
タイトル	画面に表示されるユニット教材のタイトルを入力します
アクセス制限	ユーザやゲストユーザに教材を公開するかどうかを選択できます 非表示にされた教材はユーザの成績画面に表示されません
日時制限	ユーザが教材を開始できる期間を設定できます ユーザは学習支援システム(WebClass)サーバ時刻で開始日時の 00 秒から終了日時の 59 秒まで教材を開始することができます 終了日時を経過した実行中の教材を強制的に閉じたり回答を禁止したりはできません
実行回数の制限	ユーザがユニットを実行できる回数を制限できます
利用できるグループを限定する	授業メンバーのうち教材を実行できるグループを制限することができます このオプションを利用するにはグループ設定を行わなければいけません(詳しくは「授業メンバーをグループに割り振る」をご覧ください)
利用できるメンバーを限定する	授業メンバーのうち教材を実行できる授業メンバーを制限することができます ワイルドカードを用いた指定と CSV ファイルによる一括指定ができます
IP アドレス制限	教材にアクセスできる端末の IP アドレスを IP-IP、IP/BIT、IP/MASK 形式で指定することができます(完全一致) また、ワイルドカードを用いることもできます
学習順序の強制	ユニットに組み込まれた教材の学習の進め方を指定します 「順番に進める」を選択し、組み込んだテスト教材に合格点を設定している場合、合格点以上であれば、次の教材に進めるようになります

🔴 導入されているシステムによっては、設定できるオプションが実際の画面と異なる場合があります。

🔴 「リンク教材変更可」に○がついたオプションは、リンク元ではなくリンク教材の設定が反映されます。

🔴 ユニットに組み込まれた教材のアクセス制限が「教材一覧に非表示する」である場合でもユニット自体が公開されていれば、組み込まれた教材も実行することができます。また、組み込まれた教材のアクセス制限が「教材一覧に表示する」であれば、その教材自体を直接実行することができます。

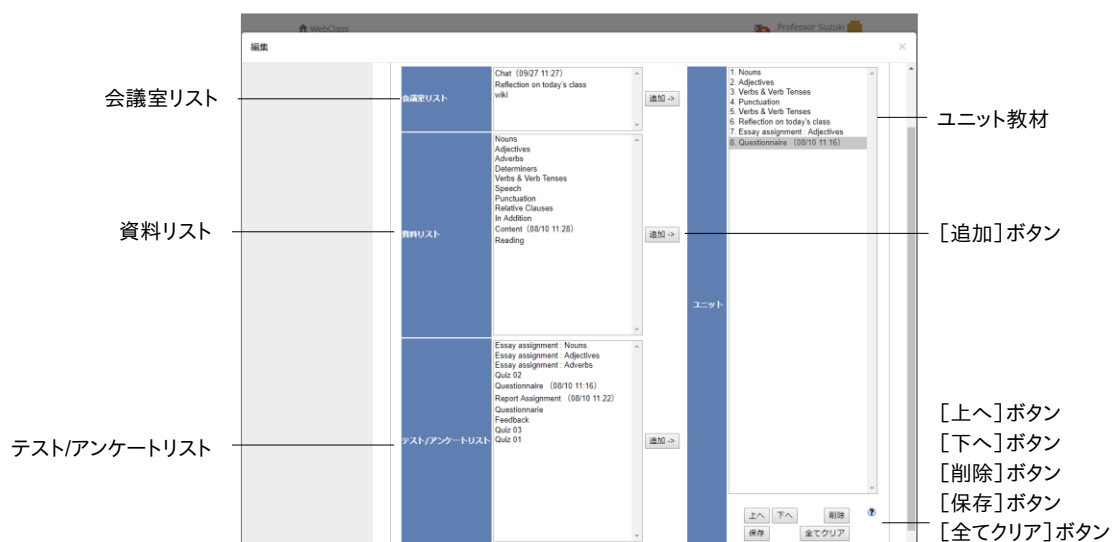
🔴 「利用できるグループを限定する」を設定すると、グループ未所属ユーザは実行できなくなります。特定のユーザも教材を実行できるようにするには「利用できるメンバーを限定する」に設定します。

🔴 「利用できるメンバーを限定する」で指定できる CSV ファイルは、1 行の文字列長が 9KB(9216 文字)までです。限定するユーザが多い場合、カンマ(,)で区切らず、1 ユーザ ID ごとに改行してください。

3 設定が完了したら、[ユニット作成]ボタンをクリックし、オプション設定を保存します。

ユニットを組み立てる

オプションを設定後、[ユニットの作成] ボタンをクリックすると、ユニットの組み立て画面が表示されます。この画面ではユニットに組み込む教材をリストから選択し、実施する順番に並べ替えます。



- 1 授業上に存在する教材がリストに表示されます。リストからユニットに組み込む教材を選択し、[追加] ボタンをクリックします。
- 2 オプション設定画面の「学習順序の強制」で「順番に進める」を指定している場合は、[上へ] ボタンと[下へ] ボタンをクリックして、教材の順番を並べ替えます。
- 3 組み立て終わったら、[保存] ボタンをクリックします。組み込んだ教材を削除する場合は、[削除] ボタンもしくは[全てクリア] ボタンをクリックします。

FAQ/用語集について

頻繁に尋ねられる質問とその回答、また重要な用語とその意味をまとめることができます。作成した FAQ/用語集はメニュー「その他」>「FAQ/用語集」からでも編集することができます。

- この機能を利用するには、メニュー「授業管理」>「授業管理」>「授業オプション／時間割設定」をクリックして、「FAQ/用語集」を「Yes」に設定しておく必要があります。

[FAQ] ボタン

[用語集] ボタン

[表示モードに切り替え] ボタン

一括登録サンプルデータ

「公開」チェックボックス

[登録] ボタン

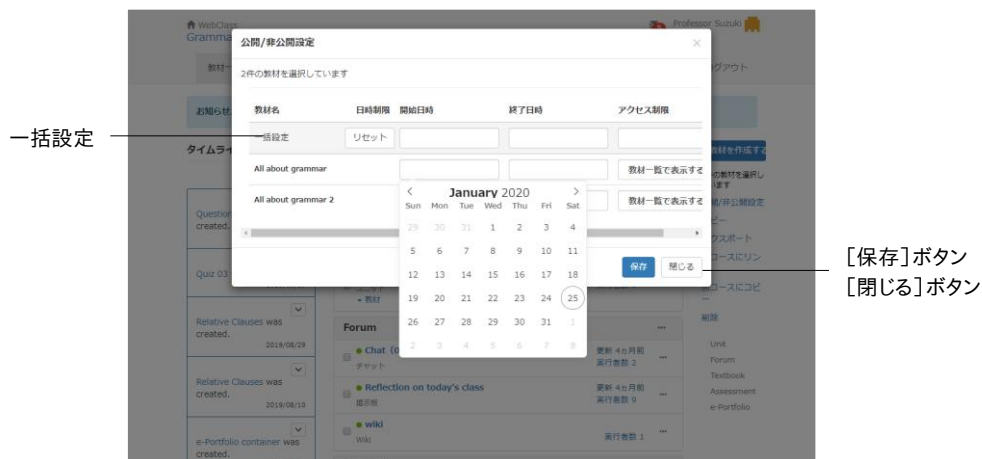
[更新] ボタン

[削除] ボタン

- [FAQ] ボタンもしくは[用語集] ボタンをクリックして表示を切り替わります。
- [編集モードに切り替え] ボタンもしくは[表示モードに切り替え] ボタンをクリックし、モードを切り替えます。
- FAQ の場合、質問欄と回答欄を、用語集の場合、語句欄と読み欄、説明欄を入力し、[登録] ボタンをクリックします。

教材の公開設定の変更、削除について

教材一覧画面で教材の左側にあるチェックボックスをクリックすると、選択された教材の公開設定を変更したり、削除したりすることができます。



教材の公開設定を変更する

教材のアクセス制限を変更したり日時制限を設けたりするには、教材一覧画面で教材にチェックを入れ、「公開/非公開設定」をクリックします。教材の公開/非公開はドロップダウンリストから「変更しない」、「教材一覧で表示する」、「教材一覧で非表示にする」、「ゲストユーザへも公開する」を選択することで設定できます。また、日時制限では教材公開の開始日時と終了日時を設定することができます。変更を反映させるには[保存]ボタンをクリックします。

なお、複数選択した教材の日時制限とアクセス制限を一括で変更するには「一括設定」から行います。

不要な教材を削除する

削除したい教材にチェックを入れ、「削除」をクリックします。問題がなければ、確認画面で再度[削除]ボタンをクリックします。

教材の並べ替え、ラベルについて

教材一覧に表示される各教材の表示順を並べ替えたり、ラベルで教材をまとめたりすることができます。



教材一覧画面で教材の左側にあるチェックボックスをクリックすると、選択された教材に対してラベルの変更や削除、コピーやエクスポートなどを行うことができます。また、右側にある「教材並び替え/ラベル設定」をクリックすると、教材の並べ替えやラベルの追加を行うことができます。

教材を並べ替える

教材一覧画面の「教材並び替え/ラベル設定」をクリックします。並べ替えたい教材をドラッグ・アンド・ドロップで移動します。また、[ソート] ボタンをクリックすると、名前順で、もしくは教材の最終更新日で昇順・降順にソートすることができます。操作が完了したら、[変更内容を保存する] ボタンをクリックします。

ラベルで教材をまとめる

「教材並び替え」で[新しいラベル] ボタンをクリックすると、入力フォームが表示されます。ラベル名を入力し、[OK] ボタンをクリックと、ラベルが作成されます。

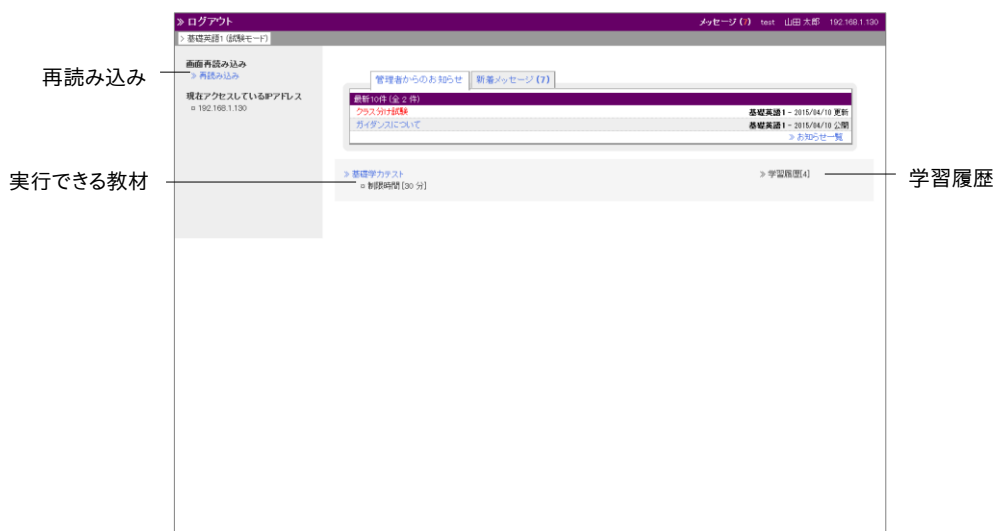
ラベルの左に表示される「▶」をクリックすると、ラベルの内容が展開されます。教材をラベルの中へドラッグ・アンド・ドロップすることで、ラベルに既存の教材を移動させることができます。また、ラベル自体もドラッグ・アンド・ドロップで並べ替えることができます。

作成したラベルを変更したり、削除したりするには、ラベル名をクリックし、[ラベル修正] ボタンもしくは[ラベル削除] ボタンをクリックしてください。

試験モードについて

試験モードは設定した期間中に限って、特定の教材のみを学生の授業の教材画面に表示し、それ以外の教材やノートなどの機能を非表示にする機能です。表示する教材を制限できるので、カンニングを防止することができます。

試験の際に学生が実施できる教材を、まとめて指定することができます。従って、教材を作成する時には、試験の日時を意識しないでオプションの日時制限を指定できます。



試験モードが有効にされた授業では、その期間中、学生は教材一覧画面ではなく、試験モード画面を開きます。教材を開始できる時間になっても教材を開くことができない場合は、試験モード画面左上の「再読み込み」リンクをクリックするようにしてください。

試験モード用教材を準備する

試験モードを利用するには、あらかじめ教材を作成しておく必要があります。

- 試験モードは授業メンバーの登録/削除の授業権限で「試験モード設定」が付与されたユーザのみ設定を変更することができます。
- 試験モードリストにはテスト/レポート/アンケート教材以外に資料教材や会議室、ユニットを追加することができます。

次に試験モードとして教材を組み込み、実行できるようにするには、各教材のオプション設定画面でアクセス制限と日時制限を設定しなければいけません。

オプション	設定内容
アクセス制限	「教材一覧で表示する」に設定された教材のみ試験モードに組み込むことができます
日時制限	日時制限が設定されていない教材は試験モード期間外でも学生によって実行することができるため、日時制限を試験モード期間と合わせます

試験モードとして組み込まれた教材のオプションは変更することができます。ただし、アクセス制限を「教材一覧で非表示にする」と設定している場合は、試験モード期間中、学生がその教材を実行することができないので、試験モードを有効にする前に「教材一覧で表示する」に変更しなければいけません。

試験モードを設定する

メニュー「授業管理」>「試験モード設定」をクリックして、試験モード設定画面を表示します。

The screenshot shows the 'Exam Mode Settings' page. On the left, annotations point to: '試験モード設定' (Exam Mode Settings), '試験モード期間' (Exam Mode Period), '科目リストへのリンクを表示' (Show link to subject list), '[保存]ボタン' ([Save] button), and '[追加]ボタン' ([Add] button). On the right, annotations point to: '試験モード時の表示コメント' (Display comment during exam mode), '試験モードリスト' (Exam mode list), and a group of buttons: '[上へ]ボタン' ([Up] button), '[下へ]ボタン' ([Down] button), '[削除]ボタン' ([Delete] button), '[全てクリア]ボタン' ([Clear all] button), and '[保存]ボタン' ([Save] button).

- 1 「試験モード期間」を設定し、試験モード画面で表示する注意事項や説明を「試験モード時の表示コメント」に入力します。また、授業リストへのリンクを表示するか設定することができます。
- 2 試験モードで用いる教材を各教材リストから選択した状態で[追加]ボタンをクリックし、試験モードリストに追加します。
- 3 教材は試験モードリストの順番に実施されます。[上へ]および[下へ]ボタンで教材を実施する順番を並べ替えます。

- 4 試験モードリストを作成し終わったら、[保存]ボタンをクリックします。追加した教材を削除する場合は、[削除]ボタンもしくは[全てクリア]ボタンをクリックします。

試験モードを有効にする

試験モード設定画面で「試験モード設定」を「On」にし[保存]ボタンをクリックすると、試験モード設定の内容が反映されます。なお、試験モードが有効かつ試験モード期間中は、学生の教材一覧画面が試験モード画面に置き換わります。

- 🔴 試験モード用教材でアクセス制限が「教材一覧で非表示にする」となっている場合は、「教材一覧で表示する」に変更してください。

アクティブラーニングを実践する

タイムライン機能は先生が教材を作成するたびに、学生が取り掛からなければいけない教材を時系列で通知し、学生が「今何をしているか」を素早く知ることができます。また、フィードバックを受け、すぐさま教材を作成することができるので、アクティブラーニングを実現する手助けとなります。

タイムラインについて

タイムラインから容易に教材を作成することができます。例えば、簡易アンケートはクリッカーとして利用することができます。タイムラインでは以下を利用することができます。

- 既存教材を公開する
- レポート課題を作成する
- 簡易テストを作成する
- 簡易アンケートを作成する
- チャットを作成する
- 簡易資料を作成する

教材一覧画面にはタイムラインが表示されます。タイムライン上の投稿の「▼」をクリックすると投稿が展開され、利用状況や操作ボタンが表示されます。

更新

書き込み
学生の書き込みを許可

書き込み
教材の作成

ファイル/画像

[送信]ボタン

「▼」メニュー

[実行]ボタン

[情報]ボタン

[削除]ボタン

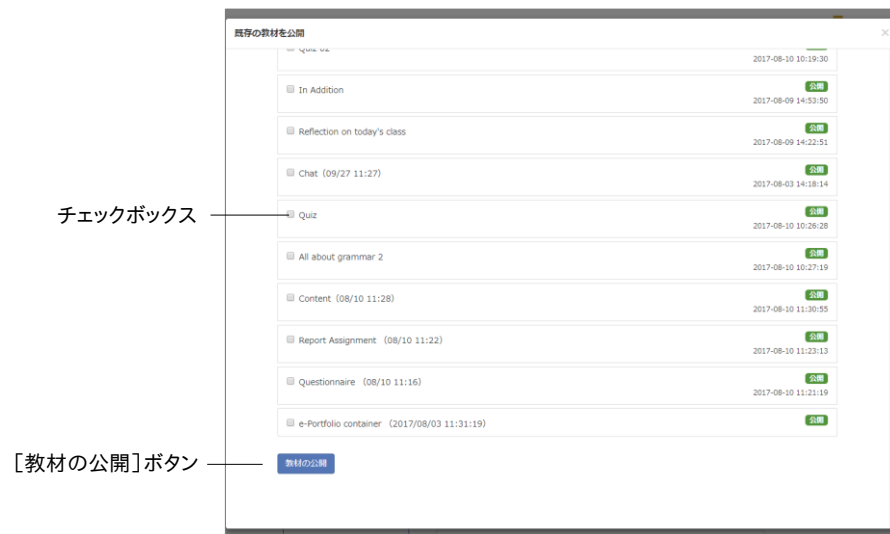
タイムラインの右上にある鉛筆アイコンをクリックし、入力フォームにテキストや URL を入力して [送信] ボタンをクリックすると、他ユーザのタイムライン画面がリアルタイムで更新されます。ファイルを添付することもできます。

学生もタイムラインに書き込めるようにする:

デフォルトでは授業管理者のみがタイムラインに書き込むことができます。ユーザにも書き込みを許可するには、鉛筆アイコンをクリックし、「学生の書き込みを許可」を「ON」に切り替えます。

非公開教材を公開する：

非公開で作成した教材を授業中に公開し、学生に実行させることができます。



- 1 タイムラインの右上にある鉛筆アイコンをクリックし、「教材の作成」タブをクリックします。
- 2 「既存教材の公開」をクリックします。
- 3 教材のチェックボックスにチェックを入れて[教材の公開]ボタンをクリックします。

レポート課題を作成する

レポート提出もしくは記述式での課題を簡単に作成することができます。

- 1 タイムラインの右上にある鉛筆アイコンをクリックし、「教材の作成」タブをクリックします。
- 2 「レポート課題を作成」をクリックします。
- 3 タイトル、課題内容、解答形式、配点を設定します。必要であれば、ラベルや日時制限、ルーブリックを設定したり、ファイルを添付したりできます。

✦ 「ルーブリックを使用する」にチェックを入れることで、ルーブリックを用いて評価することができます。以前作成したレポート教材のルーブリックを再利用するには、「テンプレートルーブリック」から選択し、必要あれば編集します。ルーブリックの編集方法については「レポートや記述式問題をルーブリックで評価する:」をご覧ください。

✦ 「提出設定」の「日時制限」にチェックを入れることで、レポート教材を実行できる期間を設定することができます。ユーザは学習支援システム (WebClass) サーバ時刻で開始日時の 00 秒から終了日時の 59 秒まで教材を開始することができます。実行中に期限を過ぎると、強制終了し回答できなくなります。再提出期限が設定された場合は、指示されたユーザのみ期限が延長されます。

- 4 [新規作成]ボタンをクリックします。

簡易テスト教材を作成する

単数選択式、複数選択式の問題を簡単に作成することができます。

ラベル

タイトル

説明

課題内容

問題スタイル

添付ファイル

配点

日時制限

[新規作成] ボタン

- 1 タイムラインの右上にある鉛筆アイコンをクリックし、「教材の作成」タブをクリックします。
- 2 「簡易テストを作成」をクリックします。
- 3 タイトル、課題内容、問題スタイル、配点を入力します。
- 4 必要であれば、ラベルや日時制限を設定したり、ファイルを添付したりできます。

🔴 「提出設定」の「日時制限」にチェックを入れることで、テスト教材を実行できる期間を設定することができます。ユーザは学習支援システム（WebClass）サーバ時刻で開始日時の 00 秒から終了日時の 59 秒まで教材を開始することができます。実行中に期限を過ぎると、強制終了し回答できなくなります。

- 5 [新規作成] ボタンをクリックします。

簡易アンケートを作成する

簡易アンケート教材を簡単に作成することができ、学生の意見を授業に反映できるので、クリッカーとして使うことができます。集計結果はその場で確認できます。

- ✦ ユーザが複数回、回答した場合、最後の回答のみ保存されます。

ラベル

タイトル

質問

添付ファイル

質問スタイル

[新規作成]ボタン

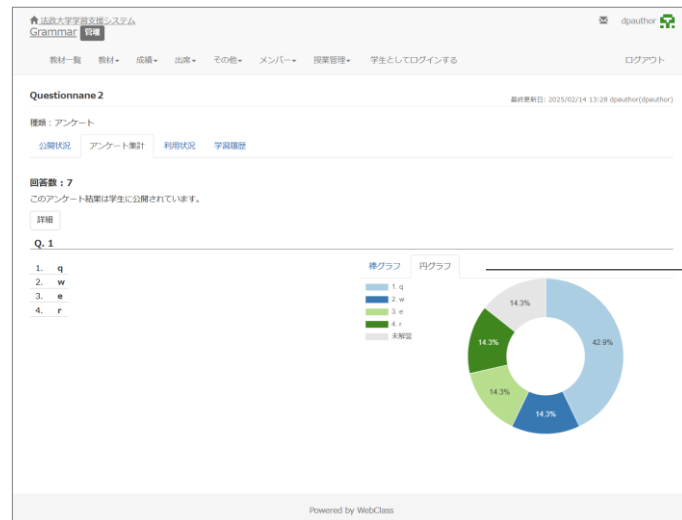
定型文

- 1 タイムラインの右上にある鉛筆アイコンをクリックし、「教材の作成」タブをクリックします。
- 2 「簡易アンケートを作成」をクリックし、タイトルやラベルを入力します。
- 3 質問スタイルを選択し、質問を入力します。
- 4 選択肢を設定します。
 - ✦ 選択肢数はスライダーで指定することもできます。
 - ✦ 選択肢は最大で 9 個作成できます。
 - ✦ 単数選択(手入力)もしくは複数選択(手入力)の場合は、選択肢文を入力します。
- 5 必要であれば、ファイルを添付します。
- 6 [新規作成]ボタンをクリックします。

アンケート集計結果を確認する

タイムライン上の簡易アンケート教材の「▼」をクリックすると投稿が展開され、利用状況や操作ボタンが表示されます。[集計結果]ボタンをクリックすると、集計結果がグラフ表示されます。

👉 1人が複数回答した場合は、最後の回答が集計されます。



グラフ表示は切り替えることができます。グラフは自動で更新されます。

チャットを作成する

チャット教材を簡単に作成することができます。

教材 新規作成

教材の作成

ラベル

複数の教材をラベルでまとめて表示することができます。

タイトル 必須

チャット (03/07 13:17)

説明

説明

定型文

課題本文に定型文を挿入します。

1. 未登録 編集
2. 未登録 編集
3. 未登録 編集
4. 未登録 編集
5. 未登録 編集

[新規作成] ボタン

- 1 タイムラインの右上にある鉛筆アイコンをクリックし、「教材の作成」タブをクリックします。
- 2 「チャットを作成」をクリックします。
- 3 タイトルやラベル、説明を入力します。
- 4 [新規作成] ボタンをクリックします。

簡易資料を作成する

テキスト入力の資料教材を作成できます。ファイルを添付できます。

教材 新規作成

資料教材の作成

ラベル

複数の教材をラベルでまとめて表示することができます。

タイトル 必須

資料 (03/07 13:18)

第一節タイトル

資料内のタイトル

テキスト

資料内容

添付ファイル

ファイルを選択 選択されていません

[新規作成] ボタン

- 1 タイムラインの右上にある鉛筆アイコンをクリックし、「教材の作成」タブをクリックします。
- 2 「簡易資料を作成」をクリックします。
- 3 タイトルやラベル、テキストを入力します。任意で節のタイトルを入力します。必要であれば、ファイルを添付してください。
- 4 [新規作成] ボタンをクリックします。

出席をとる

学習支援システム(WebClass)では出席をとる作業を自動化し、出席点として管理することで、出席を効率化します。この章では、出席データを収集し、集計されたデータを確認する方法について説明します。

出席について

学習支援システム(WebClass)で出席確認を行うには出席機能を使います。メニュー「出席」には「設定/ログの確認」と「出席状況一覧/修正」があります。メニューをクリックすることで、各出席画面を開くことができます。各出席画面から授業の教材画面に戻るには、画面左上の「授業名」リンクをクリックしてください。

まず、出席の設定/ログの確認画面で出席コマを作成します。次に、出席確認を行う時に出席コマを公開します。なお、出席確認後も出席データを出席状況一覧画面で修正することができます。

- 🔔 学年暦の授業実施日に対応した出席コマが自動で生成されます。出席コマは手動で作成することも可能です。

出席を取るための準備をする

学習支援システム(WebClass)上で出席をとるには開講までに設定を行う必要があります。まず、メニュー「出席」>「設定/ログの確認」をクリックし、設定/ログの確認画面を表示してください。

授業日
開始日時
出席扱い
遅刻扱い

公開しない

〔授業コマを作成〕ボタン

1 「授業日」をカレンダーで選択します。

🔴 オプションが表示されていない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

2 「開始日時」、「出席扱い」、「遅刻扱い」を入力します。

3 〔授業コマを作成〕ボタンをクリックします。

🔴 作成される出席コマはすべて公開されます。仮の授業コマを作成する場合や教員がまとめて出席データを入力する場合は、「公開しない」にチェックを入れてから、〔授業コマを作成〕ボタンをクリックしてください。

🔴 授業コマを作成後も同じ手順で授業コマを追加することができます。

出席を取る

設定/ログの確認画面から出席確認を開始することができます。メニュー「出席」>「設定/ログの確認」をクリックしてください。

チェックボックス
パスワード
IP アドレス制限

〔各コマ情報を更新〕ボタン
〔削除〕ボタン

〔変更にする〕ボタン

出席・遅刻扱い

〔公開する〕ボタン

- 1 該当する授業日について、「授業予定」、「出席扱い」と「欠席扱い」とする条件を設定します。今から公開する場合は「現在時刻から」にチェックを入れます。

出席データ上の扱い	条件の区間	例(9:00 に出席を取る)
出席	出席コマを公開した時点もしくは開始日時から設定した時間まで	「出席扱い:20 分間」の場合 9:00~9:20 を出席として記録
遅刻	「出席扱い」が終了してから設定した時間まで	「遅刻扱い:40 分間」の場合 9:20~10:00 を遅刻として記録
欠席	「遅刻扱い」が終了してから	10:00 以降は欠席として記録

- ✦ 出席扱いおよび遅刻扱いの時間帯のみ、ユーザは授業コマを実行し、出席データを送信することができます。
 - ✦ 公開後、授業コマの授業予定を変更するには[変更する]ボタンをクリックしてください。
- 2 パスワードと IP アドレス制限を併用することで代返(代理返事)のような不正を防止することができます。
 - ✦ 出席確認のたびにパスワードを変更し、学生に通知します。
 - ✦ 出席データを送信できる端末の IP アドレスは IP-IP、IP/BIT、IP/MASK 形式で指定することができます(完全一致)。また、ワイルドカードを用いることもできます。
 - 3 オプションを変更するには[編集]をクリックします。

オプション	説明
タイトル	画面に表示される出席コマのタイトルは編集できません
種別	「自習用(成績公開)」、「試験(成績非公開)」、「一問一答」から指定できます
説明/注意点	教材を実行する際に表示されます
実行回数の制限	ユーザが教材を開くことができる回数を制限できます
IP アドレス制限	教材にアクセスできる端末の IP アドレスを IP-IP、IP/BIT、IP/MASK 形式で指定することができます(完全一致) また、ワイルドカードを用いることもできます
実行パスワード	パスワードによって実行できる教材を制限することができます 最大 10 文字までの半角英数記号を設定できます
ロックパスワード	パスワードによって教材を制限することができます 最大 10 文字までの半角英数記号を設定できます

- ✦ 作成できる問題のスタイルは「単数選択式」のみです。また、出席扱いとするには満点を取らなければいけないため、問題を編集する場合は注意する必要があります。
- 4 [公開する]ボタンをクリックし、その出席コマを学生が実行できるようにします。
 - ✦ [公開する]ボタンもしくは[各授業コマを更新]ボタンをクリックすると、パスワード、IP アドレス制限、開始・終了時刻の設定が保存されます。
 - ✦ 授業コマを削除するには、授業コマのチェックボックスをチェックし、[削除する]ボタンをクリックします。

出席データを修正する

メニュー「出席」>「出席状況一覧/修正」をクリックします。すると、出席状況一覧画面が表示され、出席状況の確認およびデータの修正ができます。また、出席が足りないなどの通知をメッセージとして一括送信することができます。

- 一覧は[氏名]もしくは[ユーザ ID]、[数字部分]ボタンをクリックすることでソートすることができます。また、ユーザ ID を指定することで一覧に表示するユーザを絞り込むことができます。

出席一覧のダウンロード

[Mail]ボタン

出席コマ

- 修正する授業日をクリックします。

出席ステータス

修正理由

コメント

修正履歴

前回の修正理由

CSV一括修正

[CSVファイルを読み込み]ボタン

一括読み込み用CSVファイル

出席状況一覧へ戻る

出席データ CSV一括修正へ

- 「出席ステータス」と「修正理由」、「コメント」を編集します。
- [出席データを修正する]ボタンをクリックします。

- 出席データの修正履歴を確認するには「履歴」リンクをクリックしてください。

出席データをダウンロードする:

出席状況一覧画面左上にある「出席一覧のダウンロード」リンクをクリックし、ダウンロード画面を表示します。出席データは CSV もしくはテキストファイルでダウンロードできます。

出席データを一括登録する

出席状況一覧画面では 1 回分の出席データをまとめて登録もしくは修正することができます。

- 1 修正する授業日をクリックします。
- 2 画面右上の「出席データ CSV 一括修正へ」リンクをクリックして画面下部の「一括読み込み CSV ファイル」から CSV ファイルをダウンロードします。
- 3 Excel などのエディタで出席データを作成します。

フィールド	説明
username	ユーザ名
user_id	ユーザ ID
status	出席ステータスを「出席」もしくは「出」、「欠席」もしくは「欠」、「遅刻」もしくは「遅」、「早退」もしくは「早」、「未」もしくは「-」で入力します
comment	コメントを入力します
(Latest reason for modification)	「前回の修正理由」は変更できません

🔗 CSV ファイルの 1 行目には、フィールド名を必ず入力してください。

- 4 「CSV 一括修正」で作成した CSV ファイルを指定し、[CSV ファイルを読み込み] ボタンをクリックします。

成績をつける

学生が教材を実行します。すると、学習支援システム(WebClass)は自動採点やアンケートの集計を行います。レポートなどの記述式課題では、提出や点数などの管理は学習支援システム(WebClass)に任せて、教員は採点に集中することができます。この章では採点作業や集計などの成績データの管理について説明します。

成績について

解答だけでなく、実施回数などの進捗状況、採点結果、解答するまでににかかった時間などのデータが管理することができます。メニュー「成績」には「成績一覧」や「進捗状況一覧」、「出題分野ごとの分析」、「問題ごとの成績表示/再採点」、「アンケート集計」、「レポート/記述式問題の採点」などがあります。システムの設定によっては「成績評価」が利用できます。

メニュー項目をクリックすることで、各成績画面を開くことができます。各成績画面から授業の教材画面に戻るには、画面左上のナビゲーションから授業名リンクをクリックするか「このウィンドウを閉じる」をクリックしてください。

- ✦ テスト教材作成時、「種別」で「自習用(成績公開)」に設定した教材では、学生も自身の成績を確認することができますが、「試験(成績非公開)」に設定された教材は、学生が自身の成績を確認することができません。ただし、授業設定で『「試験」教材の得点公開』を有効にしている場合は、テストの点数のみ閲覧できます。

学習履歴を確認する

教材一覧画面で教材メニューの公開状況画面を開きます。教材一覧＞指定教材の「…」をクリック＞公開状況＞「学習履歴」タブをクリックすることで学習履歴画面を表示することができます。教材を実行すると、実行回ごとに接続元の IP アドレスと利用時間が記録され、回答および成績データ、学習カルテデータとともに学習履歴として保存されます。

検索条件

学習履歴のダウンロード

[選択された履歴を削除] ボタン

☐	選択	氏名 ▲▼	ユーザID ▲▼	学生証番号 ▲▼	IPアドレス ▲▼ ホスト名	開始時刻 ▲▼	終了時刻 ▲▼	利用時間 ▲▼
☐		student02	student02		27.83.78.107	2025-02-14 13:53:25	2025-02-14 13:53:26	00:00:01
☐		student02	student02		27.83.78.107	2025-02-14 13:53:19	2025-02-14 13:53:21	00:00:02
☐		student01	student01		27.83.78.107	2025-02-14 13:53:03	2025-02-14 13:53:04	00:00:01
☐		student01	student01		27.83.78.107	2025-02-14 13:52:36	2025-02-14 13:52:37	00:00:01
☐		student05	student05		27.83.78.107	2025-02-14 13:51:58	2025-02-14 13:52:01	00:00:03
☐		student05	student05		27.83.78.107	2025-02-14 13:51:52	2025-02-14 13:51:54	00:00:02
☐		student06	student06		27.83.78.107	2025-02-14 13:51:35	2025-02-14 13:51:38	00:00:03
☐		student06	student06		27.83.78.107	2025-02-14 13:51:27	2025-02-14 13:51:30	00:00:03
☐		student07	student07		27.83.78.107	2025-02-14 13:51:10	2025-02-14 13:51:12	00:00:02
☐		student07	student07		27.83.78.107	2025-02-14 13:51:02	2025-02-14 13:51:05	00:00:03
☐		student04	student04		27.83.78.107	2025-02-14 12:02:16	2025-02-14 12:02:20	00:00:04
☐		student03	student03		27.83.78.107	2025-02-14 12:01:47	2025-02-14 12:01:50	00:00:03
☐		student02	student02		27.83.78.107	2025-02-14 12:01:24	2025-02-14 12:01:31	00:00:07
☐		student01	student01		27.83.78.107	2025-02-14 12:00:59	2025-02-14 12:01:07	00:00:08

14 件

Powered by WebClass

回答と成績データを削除するには、削除する学習履歴のチェックボックスにチェックを入れて [選択された履歴と成績を削除] ボタンをクリックします。

- ▶ 学習履歴は最新の 300 件まで表示されます。
- ▶ 実施された教材を再編集するためには、教材を編集する前に学習履歴を削除しなければいけません。
- ▶ 「回答の見直しを許可」オプションが有効時に複数回答した場合、最終の学習履歴に回答・成績データが紐付きます。
- ▶ 無記名式アンケートでは、学習履歴を削除しても回答は削除せず、集計対象となります。

テストやレポートにおける得点や平均得点、メンバー内での最大得点・最小得点を一覧表示するには、メニュー「成績」>「成績一覧」をクリックして、成績一覧画面を開いてください。

🍌 SCORM 教材は最後に実行した時の点数が表示されます。詳細な成績については「SCORM 教材の成績を確認する」をご確認ください。

「Mail」ボタン

WebClass

複数回、実施されたテストの得点は[平均得点]ボタン、[最大得点]ボタン、[最小得点]ボタン、[合計得点]ボタンで、得点一覧の表示を切り替えることができます。一覧に表示されるユーザやテストが多くて見にくい場合や特定の期間に受講したテストの得点を確認したい場合は、ユーザIDもしくは氏名、テスト名や集計期間などで絞り込み検索をしてください。なお、メニュー「メンバー」>「グループ設定」において、グループを設定している場合、絞り込み検索に表示され、検索することができるようになります。

開いただけの教材や未採点のレポートや記述式回答は 0 点として計算されます。そのため、自動採点される設問スタイルを含む教材では、未採点を除く得点が表示され、またレポート課題および記述式設問のみの教材では、「* [0]」と表示されます。

ユーザにメッセージを送るには場合、各ユーザのチェックボックスにチェックを入れ、[Mail] ボタンをクリックします。メッセージ作成画面が表示され、一括送信できます。

受講回数や利用時間を確認する

教材の受講回数や合計利用時間を確認するには、メニュー「成績」>「進捗状況一覧」をクリックして、進捗状況一覧画面を開いてください。

[実施回数] ボタン
[合計利用時間] ボタン
絞り込み検索
この表をダウンロード

[Mail] ボタン

		Quiz	All about grammar 2	All about grammar
Student 01	student001	[1]	[6]	[1]
Student 02	student002	[1]	[1]	[1]
Student 03	student003	[1]	[1]	[1]
Student 04	student004	[1]	[1]	[1]
Student 05	student005	[1]	[1]	[1]
Student 06	student006	[1]	[1]	[1]

進捗状況一覧画面に表示される進捗データは、[実施回数] ボタンもしくは[合計利用時間] ボタンをクリックすることで切り替えることができます。一覧が長くて見にくい場合や特定の期間の進捗データを確認したい場合は、ユーザ ID もしくは氏名、教材名や集計期間などで絞り込み検索を行います。なお、メニュー「メンバー」>「グループ設定」において、グループを設定している場合、絞り込み検索に表示され、検索することができるようになります。

進捗の悪いユーザなどに対してメッセージで通知するには各ユーザのチェックボックスにチェックを入れ、[Mail] ボタンをクリックします。メッセージ作成画面が表示され、一括送信できます。

出題分野ごとの成績を分析する

テスト/レポート/アンケート教材を作成する際に各設問に対して「出題分野」を設定しておく、得意な分野や弱点を分析することができます。メニュー「成績」>「出題分野ごとの分析」をクリックします。

出題分野ごとの成績

ユーザID: [検索欄] (プレイングカードで、授業の一環として検索。検索の条件はorで選択。)

出題分野: [検索欄] (プレイングカードで、授業の一環として検索。検索の条件はorで選択。)

集計期間: 2017年 4月 5日 から 2018年 3月 7日

得点表示方法: 平均得点 | 最高得点 | 最小得点 | 合計得点 | 正答率

[再表示] ボタン

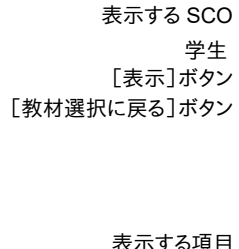
最大得点 (集計期間 2017/04/05 - 2018/03/07)
現在の時刻: 2018-03-07 13:35:05
一覧のダウンロード

氏名	ユーザID	国語	数学	英語	理科	社会	総合	合計
Student 01	student001	10	10	0	10	10	5	75
Student 02	student002	10	10	0	10	10	5	75
Student 03	student003	10	10	-	-	5	5	40
Student 04	student004	10	10	10	10	10	5	85
Student 05	student005	10	10	0	0	5	5	55
Student 06	student006	-	-	-	-	0	5	10
Student 07	student007	10	10	10	10	10	5	80

一覧のダウンロード

分析する成績の種類は、「得点表示方法」の各ボタンで表示を切り替えることができます。ユーザ ID や出題分野、集計期間で絞り込み検索することができます。

受講中もしくは受講が完了した SCORM 教材の成績データを確認するには、メニュー「成績」>「SCORM 教材の成績一覧」をクリックして、SCORM 教材成績一覧画面を表示してください。SCORM 教材成績一覧画面では得点や解答結果などの成績だけでなく、学習状況や学習時間、学習速度などの進捗データも確認できます。



- ## 成績をつける

レポートや記述式問題の採点を行う

レポート提出教材や記述式問題では授業管理者が採点を行います。メニュー「成績」>「レポート/記述式問題の採点」をクリックして、レポート/記述式問題の採点画面を開いてください。

The screenshot shows the 'レポート/記述式問題の採点' (Report/Description Question Grading) window. On the left, a sidebar contains buttons: [レポート一覧に戻る]ボタン (Return to report list), レポート採点 未提出者 (Report grading, Not submitted), [再読み込み]ボタン (Reload), and 絞り込み検索 (Filter search). The main area has tabs for 'レポート一覧に戻る', 'レポート採点', and 'レポート採点 未提出者'. The 'レポート採点 未提出者' tab is active, showing a list of reports. Below the list, there are filters for 'データを読み込み' (Load data) and '絞り込み条件' (Filter conditions). The '絞り込み条件' section includes '対象ユーザ' (Target user) with fields for 'ユーザID' (User ID), '氏名' (Name), and '学生番号' (Student number), and '検索のヒント' (Search hints). There are also checkboxes for '未解答だけの解答を隠す' (Hide answers only for unanswered questions), '学生毎に最新の解答だけ抽出' (Extract only the latest answer for each student), and '未採点の解答だけ抽出' (Extract only the ungraded answers). The '表示する項目' (Items to display) section has checkboxes for '授業名' (Lesson name), 'ユーザID (数字)' (User ID (Number)), and '学生番号' (Student number). The '表示形式' (Display format) section has a dropdown for '1ページごとの表示数' (Number of items per page) set to '10件'. The '並び順' (Sort order) section has dropdowns for '1番' (1st), '2番' (2nd), and '3番' (3rd) with checkboxes for '逆順' (Reverse). The '絞り込み検索' (Filter search) section has a '絞り込み' (Filter) button. The 'メッセージ' (Message) section shows a message from 'DIP修習学生 (duser)' dated '2025-02-14 13:06:41'. The 'レポート' (Report) section shows a report titled 'レポート' with a score of '50'. The '添付ファイル' (Attachment) section shows a file named 'answer.csv'. The '得点' (Score) section shows a score of '50'. The 'コメント' (Comment) section has a text area. The '再提出指示' (Resubmission instruction) section has a checkbox for '再提出を指示する' (Indicate resubmission). The bottom of the window has buttons for '保存' (Save) and 'リセット' (Reset).

[レポート一覧に戻る]ボタン
レポート採点
未提出者
[再読み込み]ボタン
絞り込み検索

[レポート一覧を開く]ボタン
[ファイル出力]ボタン
[採点結果の読み込み]ボタン
メッセージ
レポート
添付ファイル
得点
コメント
再提出指示
[保存]ボタン
[リセット]ボタン

採点結果
問題と解説を表示する

1 教材を選択し、評価対象のデータを読み込みます。必要に応じて絞り込み検索を設定し、[再読み込み]ボタンをクリックします。

- 絞り込み検索で抽出する解答や並び順を指定することで、最新の解答や未採点の解答のみ、また、再提出指示された解答を上位に表示することができます。検索条件はファイル出力の answer.csv やレポートファイルの並び順に反映されます。
- 検索条件にはワイルドカードや or 演算子を用いることができます。
- 「未提出者」タブをクリックすると、教材を利用できるメンバーの中で未解答者が表示されます。
- [ブランクレコードを生成]ボタンをクリックすると、得点が 0 点で未採点とし、提出済みとなります。また、ブランクレコードを生成した日時および授業管理者の IP アドレスが、その学生のユーザ ID の学習履歴として記録されます。
- ユーザ ID に付いた鉛筆アイコンからメッセージを使って個別指導することができます。
- レポート提出や記述式の設問では、クライアントのネットワーク状況が悪い状態でも回答が消失しないよう[回答を保存]ボタンで途中の回答を保存できます。

2 評価対象者の解答が表示されます。提出されたファイルをダウンロードし内容を確認します。

- ✦ レポートの登録は[ユーザのレポートをアップロード]ボタンもしくは「採点結果の読み込み」から行います。詳しくは「まとめてレポートの点数をつける:」を参照ください。なお、[ユーザのレポートをアップロード]ボタンから登録した場合、取り消すことができません。
- ✦ PDF ファイルが提出された場合は[プレビュー]ボタンをクリックすることで内容を確認することができます。

3 解答へのコメントと点数を入力し、[保存]ボタンをクリックして、次の解答へスクロールします。

- ✦ 評価方法にルーブリックを指定した場合は、自動的に採点されます。[横向き表示]ボタンをクリックすると、評価規準ごとに列で表示されていた尺度を行と入れ替えて表示されます。評価基準の内容をすべて表示するには[行の展開切り替え]ボタンをクリックします。
- ✦ 点数に小数を入力することはできません。
- ✦ [保存]ボタンをクリックせずに画面を移動すると、採点結果が保存されません。

レポートを再提出させる:

再提出させるには、「再提出を指示する」にチェックを入れ、再提出期限を設定します。その課題を含む教材に対して再実行をユーザに指示されます。採点画面の「コメント」やメッセージを使って回答のヒントを提示するとよいでしょう。

- ✦ 日時制限や回数制限に達し、教材を実行できなくなっても、再提出を指示されたユーザは、再提出期限まで何回でも教材を実行することができるようになります。
- ✦ 再提出は設問ではなく教材に対して回答のやり直しを行わせます。そのため、複数のレポート提出もしくは記述式課題を含む教材で再提出させる場合、学生にすべての回答をやり直させ、再採点する必要があります。
- ✦ レポートの再提出が必要なユーザにメッセージで通知します。
- ✦ 前回のレポートおよび採点結果は再提出によって上書きされません。

再提出指示は「再提出を指示する」にチェックを外し、保存することでキャンセルすることができます。なお、ユーザにキャンセルされたことがメッセージで通知されます。

まとめてレポートの点数をつける:

- 1 [ファイル出力]ボタンをクリックして「すべてのレポート(zip)」を選択します。1つのファイルに圧縮された提出されたレポートファイルと成績データをダウンロードします。

- 🔸 ルーブリックを用いた一括採点には対応していません。点数を一括登録すると、画面上では点数が反映されていないように見えます。
- 🔸 授業管理者が代理で回答する場合、[一括でブランクレコードを生成]ボタンもしくは[ブランクレコードを生成]ボタンをクリックしてから成績データをダウンロードしてください。

ZIP ファイルの内容	説明
提出ファイル 添削ファイル	設問ごとに提出されたレポートは回答一覧の表示順に連番が振られます アップロード時のファイル名は answer.csv の「report/answer」および「corrected_file」をご確認ください
answer.csv answer-utf8.txt	採点結果の一覧です CSV ファイルは Excel で編集し、一括採点用ファイルとして使用できます Shift_JIS でエンコードされた CSV ファイルで表示できない文字は answer-utf8.txt でご確認ください
comments.csv comments-utf8.txt	回答一覧です 一括採点用ファイルとして使用できません
virus-check.log	システムでレポートファイルウイルスチェック機能が有効である場合、スキャン結果が追加されます また、answer.csv の VirusCheck フィールドにファイルごとのスキャン結果が出力されます

- 2 提出ファイルを採点します。
- 3 Excel などのエディタを用いて answer.csv を編集します。以下のフィールド以外は変更することはできません。

フィールド	説明
report/answer	学生が未提出のレポートを、教員が代わりにアップロードする場合、そのファイル名を入力します
corrected_file	添削済みレポートのファイル名を入力します
point	得点を入力します 点数に小数点数が含まれる場合は、小数点以下を切り捨て、整数として保存されます
comment	コメントを入力します

- 🔸 answer.csv のファイル名を変更することができます。ただし、頭文字が「.」以外で、かつ名前順で一番始めになるようなファイル名でなければいけません。
 - 🔸 取り込むファイル名は、半角英数字を推奨します。
 - 🔸 アップロードするレポートファイルが同名である時、置き換えることはできません。
- 4 answer.csv と answer.csv の「report/answer」および「corrected_file」で指定したファイルを任意のファイル名の ZIP 形式で圧縮します。「採点結果の読み込み」で圧縮ファイルを指定し、[読み込み]ボタンをクリックします。

似かよったレポートを検出する

類似レポート検知機能は、一部もしくは全部を複写したような剽窃に該当するレポートを検出し、より不正行為を見抜く手助けとなります。また、基準となるテキストを設定することで参考文献との類似性や模範解答との比較を行うような使い方もできます。

メニュー「成績」>「類似レポート検知」をクリックし、類似レポート検知画面を表示します。メニューに表示されていない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

- 🔗 リンク教材を除くテスト/レポート/アンケート教材のレポート提出課題に提出された TXT および DOCX、PDF 形式のファイル、および記述式解答を比較対象とします。

更新
[削除]ボタン
[結果を見る]ボタン
対象教材を選択
比較方法
最低/最大文字数
[処理を開始する]ボタン

テスト/レポート/アンケート教材
の回答
データを新規アップロード

- 対象レポートを「対象教材」から選択します。次に剽窃検知を行う設問番号を指定します。
 - 🔗 レポート提出課題以外で提出された解答は、「データを新規アップロード」を選択し、サンプルファイルのような CSV ファイルを登録することで検出することができます。
- 学生同士で行われたレポートの複写を検出するには「比較方法」で「回答同士を相互比較」に設定します。参考文献などとの類似性を検出したり、模範解答と比較したりするには「基準となるテキストを設定して比較」を設定します。
- 文字数が少ない、もしくは字数制限を超過したレポートを検出対象から外すには、「最低文字数」や「最大文字数」を設定します。
 - 🔗 検出対象が 100 文字未満の場合、有意な結果が出ない可能性があります。

- 4 [処理を開始する]ボタンをクリックすると、ジョブ一覧に追加されます。処理が完了したら、[結果を見る]ボタンをクリックします。スコア（類似箇所割合）が高い上位 30 件のレポートが表示されます。

● 処理中のジョブが多いと、処理がなかなか終わらないことがあります。その場合は処理中のジョブを選択し、[削除]ボタンをクリックして減らしてください。

スコア
差分表示

類似レポート検知 結果

このウィンドウを閉じる

詳細

ジョブ開始時間 2015-09-11 17:39

最低文字数: 10

最大文字数: 100000

対象レポート数: 4

表示件数: 6

スコア	氏名	氏名	内容1	内容2
	1	2		
770	test1	test3	IP アドレスはネットワークの中で使用するコンピュータの番地である。世界中のすべての電話に固有の電話番号があるように、世界中のすべてのコンピュータに固有のIP アドレスを割り振らなければならない。これは大変な作業である。もし間違えて複数のコンピュータに同じIPアドレスを割り振ると、ネットワークが正常に動かなくなってしまう。このような事故が起こらないよう世界中の色々なコンピュータにそれぞれ固有のIP アドレスを割り当てる機関が各国に存在する(日本では JPNIC)。IP アドレスは4つの数字の組で表され、それぞれの数字の区切りはピリオドで表す。例えば 203.147.227.76 といった感じである。IPアドレスは、管理上の理由からいくつかの IP 番号のグループがネットワークを構成するようになり、またこれらのネットワークがグループ分けされて、いわゆる「クラス」へと分類された。IP アドレスにおけるクラスはそのネットワークで使用するホストの数を決定する。	IP アドレスはネットワークの中で使用するコンピュータの番地です。世界中のすべての電話に固有の電話番号があるように、世界中のすべてのコンピュータに固有のIP アドレスを割り振らなければならない。これは大変な作業です。もし間違えて複数のコンピュータに同じIPアドレスを割り振ると、ネットワークが正常に動かなくなってしまう。このような事故が起こらないよう世界中の色々なコンピュータにそれぞれ固有のIP アドレスを割り当てる機関が各国に存在します(日本では JPNIC)。IP アドレスは4つの数字の組で表され、それぞれの数字の区切りはピリオドで表します。例えば 203.147.227.76 といった感じである。IPアドレスは、管理上の理由からいくつかの IP 番号のグループがネットワークを構成するようになり、またこれらのネットワークがグループ分けされて、いわゆる「クラス」へと分類されました。IP アドレスにおけるクラスはそのネットワークで使用するホストの数を決定します。
330	test1	test3	IPアドレスは、IPでネットワーク上の機器を識別するために指定するネットワーク層における識別用の番号である。データリンク層のMACアドレスを物理アドレスというのに対応して、論理アドレスと呼ばれる。IPは、IPv4とIPv6とがあり、使用するプロトコルの違いにより、IPv4のIPアドレスとIPv6のIPアドレスとがある。狭義では、当初RFC 791でIPを定義した際に、IPが現在のIPv4に当たるもののみであったことから、単にIPアドレスと呼称した場合(にはIPv4のIPアドレスを意味することもある。IP アドレスは4つの数字の組で表され、それぞれの数字の区切りはピリオドで表す。例えば 203.147.227.76 といった感じである。現在のIPv4では、32ビットの数値で識別できる上限である約42億台(2の32乗)までの一つのネットワークに接続可能なホストの数が決まる(実際にはこれより少ない場合がある)。IPv6は128ビットで、約3.4×10 ³⁸ 台のホストを識別できる。	IP アドレスはネットワークの中で使用するコンピュータの番地である。世界中のすべての電話に固有の電話番号があるように、世界中のすべてのコンピュータに固有のIP アドレスを割り振らなければならない。これは大変な作業である。もし間違えて複数のコンピュータに同じIPアドレスを割り振ると、ネットワークが正常に動かなくなってしまう。このような事故が起こらないよう世界中の色々なコンピュータにそれぞれ固有のIP アドレスを割り当てる機関が各国に存在する(日本では JPNIC)。IP アドレスは4つの数字の組で表され、それぞれの数字の区切りはピリオドで表す。例えば 203.147.227.76 といった感じである。IPアドレスは、管理上の理由からいくつかの IP 番号のグループがネットワークを構成するようになり、またこれらのネットワークがグループ分けされて、いわゆる「クラス」へと分類されました。IP アドレスにおけるクラスはそのネットワークで使用するホストの数を決定します。

- 5 差分をハイライト表示するには比較するレポートの「差分表示」をクリックします。一致した部分は青色でハイライトされます。

類似レポート検知 結果	
内容1	内容2
IP アドレスはネットワークの中で使用するコンピュータの番地である。世界中のすべての電話に固有の電話番号があるように、世界中のすべてのコンピュータに固有のIPアドレスを割り振らなければならない。これは大変な作業である。もし間違えて複数のコンピュータに同じIPアドレスを割り振ると、ネットワークが正常に動かなくなってしまう。このような事故が起こらないよう世界中の色々なコンピュータにそれぞれ固有のIPアドレスを割り当てる機関が各国に存在する(日本では JPNIC)。IP アドレスは4つの数字の組で表され、それぞれの数字の区切りはピリオドで表す。例えば 203.147.227.76 といった感じである。現在のIPv4では、32ビットの数値で識別できる上限である約42億台(2の32乗)までの一つのネットワークに接続可能なホストの数が決まる(実際にはこれより少ない場合がある)。IPv6は128ビットで、約3.4×10 ³⁸ 台のホストを識別できる。	IP アドレスはネットワークの中で使用するコンピュータの番地です。世界中のすべての電話に固有の電話番号があるように、世界中のすべてのコンピュータに固有のIPアドレスを割り振らなければならない。これは大変な作業です。もし間違えて複数のコンピュータに同じIPアドレスを割り振ると、ネットワークが正常に動かなくなってしまう。このような事故が起こらないよう世界中の色々なコンピュータにそれぞれ固有のIPアドレスを割り当てる機関が各国に存在します(日本では JPNIC)。IP アドレスは4つの数字の組で表され、それぞれの数字の区切りはピリオドで表す。例えば 203.147.227.76 といった感じである。IPアドレスは、管理上の理由からいくつかの IP 番号のグループがネットワークを構成するようになり、またこれらのネットワークがグループ分けされて、いわゆる「クラス」へと分類されました。IP アドレスにおけるクラスはそのネットワークで使用するホストの数を決定します。

類似レポート検知アルゴリズムの特徴とスコア:

類似レポート検知機能では、比較対象となる文書データが十分にデータ圧縮できる場合、その2つのデータが類似しているという特性を利用して、圧縮度から類似度を算出するという手法を用いています。そのため、剽窃と引用を区別することができません。例えば、1つの参考文献

をテーマとするようなレポート課題は、引用箇所が重なりやすく、また剽窃を避けながらレポートを作成することが難しくなるので、高いスコアが算出される可能性があります。

スコア	色	意味
70～	橙	剽窃の疑いがあります
40～69	緑	引用など近似した段落が含まれています
～39	青	剽窃はありません

問題ごとの詳細な成績を確認する

テストや自習用教材の問題ごとの得点率や解答時間、解答状況进行分析するには、メニュー「成績」>「問題ごとの成績表示/再採点」をクリックして、問題ごとの成績表示/再採点画面を開いてください。

The screenshot shows the '成績' (Results) page with the following components:

- Search Filters (Left Panel):**
 - コースに戻る (Return to Course)
 - テスト名 (Test Name): Quiz 01
 - 実施日 (Implementation Date): 全ての実施日 (All Implementation Dates)
 - 得点の指定 (Specify Score): 全ての得点 (All Scores)
 - 対象 (Target): Grammar
 - 対象ユーザのみ (Only Target Users)
 - 表示 (Display) button
 - 未提出者を表示 (Display Unsubmitted Users) button
 - ダウンロード (Download) button
 - 再採点 (Recalculate) button
- Analysis Results (Table):**

問題番号	正答率	最小解答時間	平均解答時間	最大解答時間	結果
1	75 %	2.0秒	5.1秒	14.0秒	Check
2	41 %	2.0秒	2.7秒	4.0秒	Check
3	58 %	1.0秒	2.2秒	3.0秒	Check
4	58 %	1.0秒	2.1秒	3.0秒	Check
5	100 %	1.0秒	1.9秒	2.0秒	Check
6	50 %	1.0秒	1.9秒	3.0秒	Check
7	58 %	1.0秒	1.9秒	5.0秒	Check
8	75 %	1.0秒	2.3秒	6.0秒	Check
- Question Details (Right Panel):**
 - 問題 (Question): What is the pronoun in this sentence? Sam went to the cinemas yesterday.
 - 正答 (Correct Answer): 1. Sam, 2. went, 3. cinemas, 4. yesterday.
 - 解答の詳細 (Answer Details):

正答	解答	回数	氏名
○	1	9	表示
	2	0	表示
	3	0	表示
	4	1	表示
	未解答	2	表示
- Score Table (Bottom):**

Mail	氏名	ユーザID	解答部分	得点	再採点
☒	Student 01	student01	2020-08-09 30	52.2	
☒	Student 02	student02	2020-08-09 45	58.1	

- 1 検索条件で「テスト名」を選択後、「実施日」や「得点の指定」などを指定し、[表示]ボタンをクリックします。
 - ✦ 検索条件「対象」では、教材オプション「利用できるメンバーを限定する」や「利用できるグループを限定する」で設定されたメンバーを指定する事ができます。また、「ユーザを絞る」ではワイルドカードや or 演算子を用いることができます。
 - ✦ [未提出者を表示]ボタンをクリックすると、教材を利用できるメンバーの中で未解答者が表示されます。
 - ✦ [ブランクレコードを生成]ボタンをクリックすると、得点を 0 点とし、解答済みとなります。
- 2 各問題の[Check]ボタンをクリックすると、問題文と選択肢、解答の詳細が表示されます。
 - ✦ 設問ごとの正答率は、検索条件に一致する解答者のうち、その設問に完全正解した割合です。正答率および得点率は、ランダム出題や条件分岐の場合、実際に解答した設問で算出されます。
 - ✦ PDF ファイルが正しく表示されない、もしくは[印刷]ボタンから印刷できない場合は、リンクをクリックし、別ウィンドウで開き直してから、再度試してください。
- 3 各解答の[表示]ボタンをクリックし、解答者を表示します。[Mail]ボタンからメッセージを使って個別指導することもできます。
 - ✦ 実施済みの教材の配点を変更した場合、レポート提出や記述式設問以外の自動採点を行う問題スタイルの設問では、得点に反映されません。得点を再計算するには[再採点]ボタンをクリックしてください。なお、手動で採点するレポート提出や記述式設問ではレポート/記述式問題の採点画面で採点し直してください。

学習支援システム(WebClass)以外で実施したテストの成績を管理する
ペーパーテストやレポート課題の成績を取り込み、学習支援システム(WebClass)上で成績を
管理することができます。教材 新規作成画面にある[外部データインポート]ボタンをクリック
します。



- 1 外部データインポート画面でサンプルファイルをダウンロードできます。そして、Excel などの
エディタで成績を入力します。

フィールド	名前
user_id	ユーザ ID
score	点数

- ▶ CSV ファイルの 1 行目には、フィールド名を必ず入力してください。
 - ▶ 「score」に入力された値に小数点数が含まれる場合は、小数点以下を切り捨て、整数
として保存されます。
- 2 インポートする成績の教材名および満点を入力します。作成した CSV ファイルを指定し、
[読み込み]ボタンをクリックします。

ユーザごとの詳細な成績を確認する

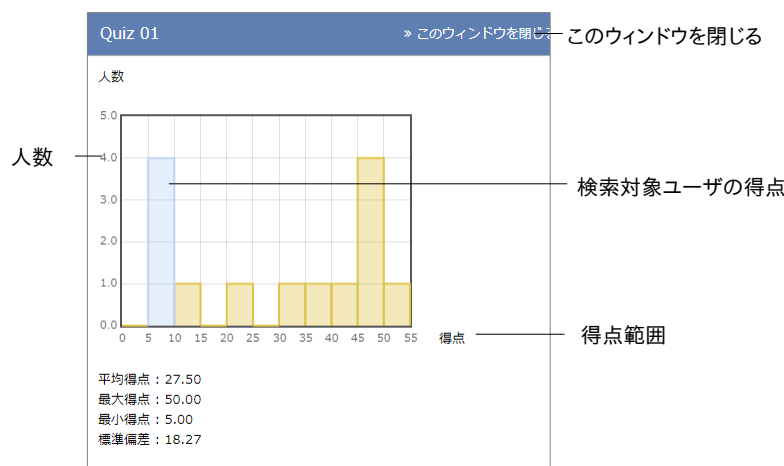
テストや自習用教材ごとの得点や配点、得点率などの成績や個々の設問の解説をユーザごとに確認するには、メニュー「成績」>「個人ごとの成績表示」をクリックして、個人ごとの成績表示画面を開いてください。

この画面は「Grammar」テストの結果表示画面です。左側のメニューには「コースに戻る」があります。検索条件として「テスト名」が「Grammar」に設定されています。検索対象は「氏名/ユーザ ID」で「Student 01」が指定されています。検索結果の表には、テスト名、日付、得点、得点率、正解数/総数、正答率などが表示されています。右側には、テストの質問と正解が示されています。下部には、不正解のリストがあり、各項目に対して「Check」ボタンが用意されています。

テスト名
対象
氏名/ユーザ ID
[結果一覧表] ボタン
得点グラフを表示
得点
平均・最大・最小得点
配点
得点率
問ごとの正誤・得点
[Check] ボタン

問題
解答・正解
解説

- 1 検索条件で「テスト名」並びに、「ユーザ ID」もしくは「ユーザ名」を指定し、成績を表示するユーザを絞り込みます。
 - 検索条件にはワイルドカードや or 演算子を用いることができます。
 - PDF ファイルが正しく表示されない、もしくは[印刷] ボタンから印刷できない場合は、リンクをクリックし、別ウィンドウで開き直してから、再度試してください。
- 2 結果一覧から確認する詳細の[表示] ボタンをクリックします。テストの得点や配点、平均得点、最大得点・最小得点、得点率などの成績を確認できます。



- 3 「得点グラフを表示」リンクをクリックし、得点分布を確認します。得点グラフは縦軸が人数、横軸が得点範囲で、青い棒グラフ上に対象ユーザが分布します。得点グラフを閉じるには、「このウィンドウを閉じる」をクリックしてください。
- 4 正解した設問には○が、不正解の設問には×が表示されます。[Check]ボタンをクリックし、各問題の正解や解説を確認します。解説が見つからない場合は「解説フレームを広く表示」をクリックしてください。

アンケートの集計結果を確認する

教材一覧画面でアンケート教材の「***」メニューをクリックし、「公開状況」を開きます。「アンケート集計」タブをクリックすると、集計結果がグラフ表示されます。

- 1 人が複数回答した場合は、「回答の見直しを許可」オプションが「する」の時、最後の回答が集計され、「しない」の時、すべての回答が集計されます。



グラフ表示は切り替えることができ、ブラウザの印刷機能が使用できます。[詳細]ボタンをクリックすると、より詳細なアンケート集計画面を表示することができます。

集計結果の詳細を確認する

アンケート集計結果の詳細を確認するには、メニュー「成績」>「アンケート集計」をクリックして、アンケート集計画面を表示させます。

アンケート名
実施日
対象
ユーザを絞る
[表示]ボタン
[未提出者を表示]ボタン
[ダウンロード]ボタン
[Check]ボタン

質問

[表示]ボタン

回答

検索条件を指定し、[表示]ボタンをクリックすると、集計結果がグラフで表示されます。各問題の[Check]ボタンをクリックし、問題文や解答を表示します。

- 検索条件「対象」では、教材オプション「利用できるメンバーを限定する」や「利用できるグループを限定する」で設定されたメンバーを指定する事ができます。また、「ユーザを絞る」ではワイルドカードや or 演算子を用いることができます。
- [未提出者を表示]ボタンをクリックすると、教材を利用できるメンバーの中で未回答者が表示されます。
- [プランレコードを生成]ボタンをクリックすると、「未解答」として、回答済みとなります。
- PDF ファイルが正しく表示されない、もしくは印刷できない場合は、リンクをクリックし、別ウィンドウで表示してから再度試してください。

集計結果を他アプリケーションで分析するためには、[ダウンロード]ボタンから CSV ファイルをダウンロードします。CSV ファイルには次の情報が出力されます。

- アンケート（無記名式）の場合、ユーザを区別せずに「anonymous」として回答および回答日（回答時刻除く）、回答数を記録します。
 - アンケート教材情報：設問構成が出力されます。この表は「テスト/レポート/アンケート教材を一括で取り込む」で作成する CSV ファイルと同様のフィールドを持ちます。
 - 回答一覧：ユーザがアンケート教材を実行した日時の一覧です。
 - アンケート集計：設問ごとの選択肢に対する回答者数を一覧で出力されます。
 - ユーザ毎の解答リスト：ユーザが行った回答の一覧です。フィールド「<設問 1/設問 2/設問 3/・・・>」下に各設問の回答が 1 セルずつ出力されます。
 - ユーザ毎の解答時間リスト（単位：秒）：ユーザが各設問の回答にかかった時間の一覧です。フィールド「<設問 1/設問 2/設問 3/・・・>」下に各設問の回答時間が秒

単位で 1 セルずつ書き出されます。

- 回答数リスト: ユーザが行った回答が出力されます。

- 🔗 ユーザがブラウザの閉じるボタンで 学習支援システム (WebClass) を終了した場合、そのユーザの回答データは空白となります。

授業の評価点を計算する

授業によっては成績評価方法が異なり、テスト/レポート/アンケート教材や SCORM 教材の得点、テスト/レポート/アンケート教材などの得点を成績評価の素点とし、シラバスなどに記載された評価配点に従って授業評価の換算点を計算します。そして、ユーザごとに点数を補正もしくは上書きし最終的な評価点を計算することができます。また、学習支援システム (WebClass) 以外で算出した点数のみを評価に加えることができます。

メニュー「成績」>「成績評価」をクリックしてください。メニューに表示されていない場合は、システム管理者にお問い合わせください。

この表のダウンロード

評価教材の編集

[再計算] ボタン

[CSV 読込] ボタン

氏名	ユーザID	評価配点	換算点	素点	合計	補正点	上書き	評価
Student 01	student01	20.00	18.00	45.00	8.00	50.00	36.00	36
Student 02	student02	18.00	45.00	8.00	30.00	32.00		32
Student 03	student03	8.00	20.00	0.00	30.00	14.00		14

評価教材を使用して成績を計算する

- 1 「評価教材の編集」リンクをクリックし、成績評価の対象となる教材を追加します。「追加可能な教材」からチェックボックスで教材を選択し、[選択教材追加]ボタンをクリックします。評価しない教材は、「評価教材」からチェックボックスで選択し、[選択教材削除]ボタンをクリックし、取り除きます。

- ✦ 評価教材は、作成時点の素点を元に作成されます。学生が再実行して成績が更新された場合、素点は反映されますが、換算点は反映されません。そのため、成績評価機能を利用する場合は、学期末などで授業が修了した段階が適しています。もし、学期途中で成績評価を行った場合は、学生の成績が更新されている可能性があるため、一度評価教材から削除し、再度評価教材として設定し直してください。
- 2 成績評価方法に従って評価教材ごとに評価配点を設定します。[保存]ボタンをクリックし、一覧に戻ります。
 - ✦ 評価配点は 0.01 以上 1500 未満の数字を入力することができます。評価配点に対するその教材の得点率から換算点へ変換するため、評価満点が 100 である必要はありません。
 - ✦ SCORM 教材の仕様のため満点を取得することができないため、個別に SCORM 教材の満点を入力する必要があります。
 - ✦ テスト教材のランダム出題や条件分岐機能には対応していません。
 - 3 得点調整をする必要がある教材では、素点を四則計算によって調整することができます。教材ごとにユーザの素点を一括で変更するには「素点調整」のドロップダウンリストから計算方法を選択し、得点を入力後、[再計算]ボタンをクリックします。

- 調整された素点を元に戻すには「素点調整」のドロップダウンリストから「リセット」を選択し、[再計算] ボタンをクリックします。ただし、SCORM 教材は入力した満点が 0 点に戻るため、満点を再入力してください。

4 ユーザの調整点を変更するには、ユーザ名もしくはその調整点をクリックします。

成績評価 - Grammar

一覧に戻る

前へ | 次へ (Student 02 - student02)

student01 / Student 01

教材	教材の点			成績評価	
	素点	調整点	満点	換算点	評価配点
Quiz 01	45	45.00	50	18.00	20.00
Quiz 02	40	40.00	50	8.00	10.00
Quiz 03	50	50.00	50	10.00	10.00
合計	135.00	135.00	150.00	36.00	40.00

[保存]ボタン

5 以上で計算した評価教材の合計点に対して、「補正点」を入力することで点数を補正できます。また、「上書き」によって「評価」を上書きできます。「評価」は必ず整数となるので、小数点以下の扱いを「四捨五入」もしくは「切り捨て」から選択してください。

- 「補正点」は 0.01 以上 1500 未満の正または負の数値を入力することができます。入力後は[保存]ボタンをクリックすることで「評価」に反映されます。
- 「上書き」は 0.01 以上 1500 未満の数値、またはシステム管理者によって設定された文字列を入力することができます。入力後は[保存]ボタンをクリックすることで「評価」に反映されます。
- 「補正点」と「上書き」を CSV ファイルで一括入力することもできます。「補正点と上書きを一括入力する:」を参照してください。
- 「評価」はマイナスや、システム管理者によって設定された点数の上限を超えることはできません。

評価教材を使用せずに成績入力のみ行う

評価教材の合計点が 0 点なので、「補正点」に入力した点数が、そのまま「評価」として反映されます。「上書き」に値を入力した場合はその値が「評価」として上書きされます。

- ✦ 「補正点」は 0.01 以上 1500 未満の正または負の数値を入力することができます。入力後は[保存]ボタンをクリックすることで「評価」に反映されます。
- ✦ 「上書き」は 0.01 以上 1500 未満の数値、またはシステム管理者によって設定された文字列を入力することができます。入力後は[保存]ボタンをクリックすることで「評価」に反映されます。
- ✦ 「補正点」と「上書き」は CSV ファイルで一括入力することもできます。「補正点と上書きを一括入力する:」を参照してください。

補正点と上書きを一括入力する:

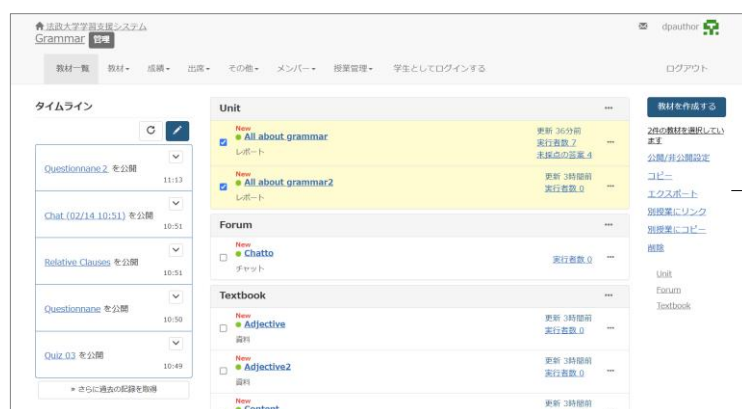
- 1 「換算点・評価一覧」の「CSV 形式」リンクをクリックして成績評価の表をダウンロードします。
 - 2 Excel などのエディタを用いてダウンロードした `gradebook_evaluation.csv` を編集します。「編集可」と書かれた「補正点」と「上書き」の列のみ変更できます。
 - 3 [CSV で取込]ボタンをクリックし、編集したファイルを選択して[読み込み]ボタンをクリックします。
- ✦ 入力エラーがある場合は画面にエラーが表示されます。CSV ファイルを修正して再度読み込むか、画面の表から直接修正してください。

教材データを保存、移行する

学習支援システム(WebClass)では授業や教材をバックアップすることも、コピーを作成することも簡単に行うことができます。また、成績データを他授業から参照するため教材をリンクすることもできます。そのため、教材を他の授業へ移行する、もしくは授業管理者同士で教材を共有する際に教材を作成する作業を簡略化できます。この章では授業管理者が作成した授業や教材をバックアップする方法やリンク教材を作成する方法を説明します。

教材のコピー、リンク、エクスポート・インポートについて

作成した教材をコピーしたり、他の授業で作成された教材を自授業で読み取り専用教材としてリンクしたりできます。また、エクスポート機能を使って教材をダウンロードすることもできます。エクスポートしたファイルはインポートすることで復元することができます。



選択を解除
公開/非公開設定
コピー
エクスポート
別授業にリンク
別授業にコピー
削除

教材をコピー、エクスポートおよび他授業へリンクする操作は教材一覧画面で、教材をインポートおよび他授業からリンクする操作は教材 新規作成画面で行います。

教材のコピーを作る

作成した教材は、実ファイルとして授業にコピーすることができます。コピーされた教材のオプションや内容を変更してもオリジナルの教材に影響は与えません。

- ✖ リンク教材をコピーすることはできません。
- ✖ 学習履歴はコピーされません。
- ✖ 会議室教材（授業掲示板、チャット、Wiki）のコピー教材には、投稿データは含まれません。

教材一覧画面でコピーしたい教材のチェックボックスを選択し、「コピー」をクリックすると、授業内にコピーが作成されます。別の授業にコピーを作成する場合は、「別授業にコピー」をクリックします。

教材を授業間でリンクする

コピー教材とは異なり、リンク教材はリンク元の教材を参照し、リンク教材の成績データをリンク元に集約します。そのため、リンク教材を用いることで教材や成績データを一元管理することができます。

リンク教材での制限

リンク教材には以下の制限があります。

- 1つの教材から同じ授業に複数のリンクを作成することはできません。
- リンク教材をユニットに組み込むことはできません。
- リンク教材の問題やページなどを編集することはできません。
- オプションの設定はリンク元の教材から継承されます。ただし、リンク教材で変更できるオプションは、そのリンク教材固有の設定を持ちます。
- 学習履歴を削除するには、リンク元の授業から行う必要があります。
- リンク元の教材を削除するには、あらかじめリンク教材を削除しなければいけません。
- リンク教材には類似レポート検知機能を実行することはできません。

他の授業から教材をリンクする

教材 新規作成画面の「他授業からリンク」をクリックします。リンク元の授業と教材を選択し、[リンクを作成する]ボタンをクリックします。

他の授業へ教材をリンクする

教材一覧画面でリンクしたい教材のチェックボックスを選択し、「別授業へリンク」をクリックします。リンク先の授業を選択し、[別授業へリンク]ボタンをクリックします。

教材をエクスポートおよびインポートする

教材一覧画面で教材のチェックボックスを選択し、「エクスポート」をクリックします。エクスポートの準備が整ったら、ダウンロードが開始されます。

教材を復元するには、教材 新規作成画面で「インポート」をクリックします。エクスポートファイルを読み込み、教材のタイトルを入力します。

- ✳ インポートする際に授業内に同名の教材がある時、警告が表示されます。授業内にある同名の教材を削除してからインポートするか、インポート時に名前を変更してください。
- ✳ エクスポートには学習履歴は含まれません。
- ✳ エクスポートされた会議室教材には投稿データは含まれません。

教材の移行について

授業に作成されたすべての教材を別の授業へコピーすることができます。メニュー「教材」>「別授業へ一括コピー」をクリックし、教材のコピー画面を表示します。

- ✳ コピー先の授業に同名の教材が存在する場合、その教材はコピーされません。コピー先の授業にある教材を削除するかタイトルを変更してください。
- ✳ 学習履歴はコピーされません。



- 1 検索条件を指定して「コピー元授業」と「コピー先授業」を選択します。
- 2 [教材をコピーする]ボタンをクリックします。

バックアップおよびレストアする

授業管理者は授業にある教材や学習履歴、成績、FAQ/用語、グループ設定などのデータをバックアップファイルとしてダウンロードすることができます。また、バックアップファイルを使ったレストアでは、復元するデータを選択することができます。

- 🔴 タイムライン、リンク元の教材データ、LTI 教材の LTI ツール設定はレストアできません。
- 🔴 ver.11.13.0 未満で作成されたバックアップファイルでは、教材とその成績データ（授業メンバーおよび学習履歴含む）のみをレストアできます。



メニュー「授業管理」>「バックアップ/レストア」を選択し、[バックアップデータ作成]ボタンをクリックします。

- 🔴 アップロードされているファイルが多い場合、バックアップデータのサイズが大きくなり、作成に時間がかかることがあります。学習支援システム (WebClass) で操作せずにお待ちください。

レストアするにはバックアップデータを指定し、[読み込み]ボタンをクリックします。なお、レストアする教材を選択することができます。

- 🔴 同名の教材や同じ ID を持つ教材がある場合、その教材はレストアできません。古い教材を削除してからレストアを行ってください。
- 🔴 ログデータを復元する場合、授業メンバーとその学習履歴やアクセスログも復元されます。
- 🔴 レストアには時間がかかることがあります。学習支援システム (WebClass) で操作せずにお待ちください。
- 🔴 レストアの際に読み込むことのできるバックアップファイルのサイズは最大 10GB です。

利用状況のモニタリング

授業管理者は授業へのアクセス状況やログを確認することができます。この章では、授業の利用状況のモニタリング方法を説明します。

授業内のログデータについて

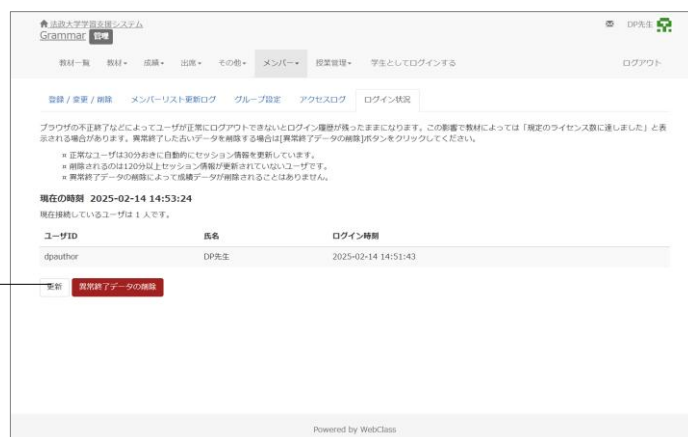
授業の利用状況に関するログデータはメニューの「メンバー」と「授業管理」から確認することができます。

ログイン状況では現在学習支援システム(WebClass)にログインしているユーザを確認することができます。また、授業メンバーごとの学習支援システム(WebClass)へのログイン回数や合計利用時間はアクセスログに表示されます。教材の種類ごとの利用時間やレポート提出頻度などを確認するには、利用状況集計を用います。

異常終了データを削除する

ブラウザの不正終了など正規の手順で学習支援システム(WebClass)をログアウトしなかった場合、そのユーザ ID がしばらく残ることがあります。そのようなユーザは約 2 時間以上でセッションが切断され、自動的にリストから削除されますが、授業管理者は手動で異常終了データを削除することができます。メニュー「メンバー」>「ログイン状況」をクリックします。

[更新] ボタン
[異常終了データの削除] ボタン



ログイン状況画面には現在学習支援システム(WebClass)にログインしているユーザのユーザ ID や氏名、ログイン時刻が表示されます。[異常終了データの削除] ボタンをクリックし、古いセッション情報を削除します。

アクセスログをダウンロードする

メニュー「メンバー」>「アクセスログ」をクリックします。アクセスログ画面に各ユーザのログイン回数や合計利用時間が表示されます。

🔴 表示される合計時間は異常終了した時の利用時間は含まれません。

The screenshot shows the 'Access Log' interface. At the top, there are tabs for '登録 / 変更 / 削除', 'グループ設定', 'アクセスログ', and 'ログイン状況'. Below the tabs, a message states: 'この授業に参加しているメンバーのリストと、この授業の利用履歴を閲覧できます。' (You can browse the list of members participating in this class and the usage history of this class.)

On the left side of the interface, there are search filters: '集計期間' (Aggregation Period) with a date range from 2024年4月1日 to 2025年2月14日, and 'ユーザID' (User ID) with a text input field. A '検索' (Search) button is next to these filters.

Below the filters, there is a section for '検索結果' (Search Results) with a link to 'CSVファイルでダウンロード' (Download as CSV file). The results are displayed in a table with the following columns: '氏名' (Name), 'ユーザID' (User ID), '種別' (Role), 'ログイン回数' (Login Count), '合計利用時間' (Total Usage Time), and '詳細ログ' (Detailed Log). The table lists 10 users, including 'dpauthor' and 'student01' through 'student09'.

On the right side of the interface, there are two buttons: '[全てのログを表示] ボタン' (Show all logs button) and '[全てのログを削除] ボタン' (Delete all logs button). A '詳細' (Details) label points to the '詳細ログ' column in the table.

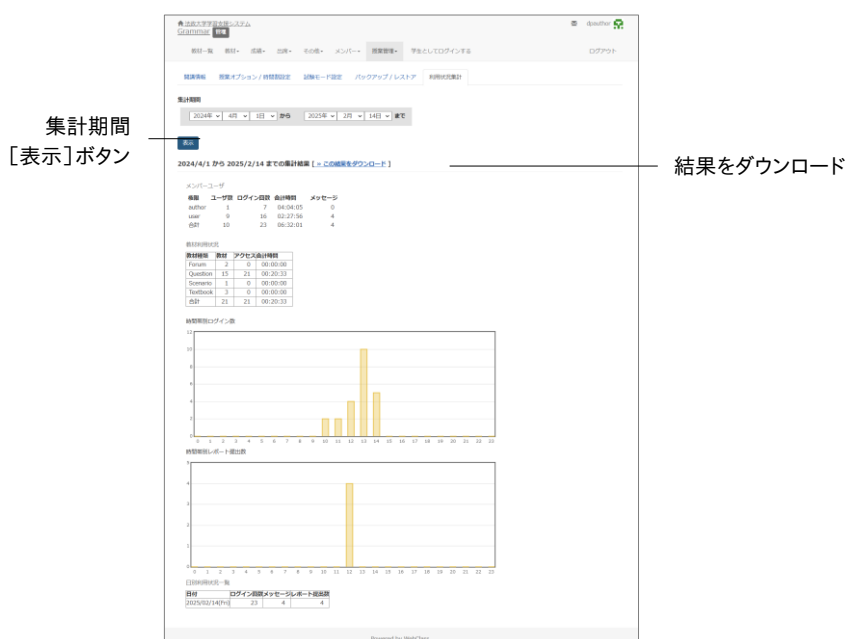
At the bottom left, there is a label 'CSV ファイルでダウンロード' (Download as CSV file) pointing to the download link in the search results section.

- 1 集計するユーザ ID を指定して、[検索] ボタンをクリックします。ワイルドカードや or 演算子を用いることができます。
- 2 [詳細] ボタンをクリックすると、そのユーザが端末の IP アドレスや利用時間、授業についてのログインおよびログアウト時刻が表示されます。
- 3 表の左上にある「CSV ファイルでダウンロード」もしくは「アクセスログのダウンロード」をクリックし、ローカルにログファイルを保存します。

[全てのログを削除] ボタンをクリックすると、該当するユーザのアクセスログがデータベースから削除されます。

利用状況集計を確認する

メニュー「授業管理」>「利用状況集計」をクリックし、授業の利用状況集計画面を表示します。



集計期間を指定し、[表示]ボタンをクリックします。集計結果には以下のような情報が表示されます。

カテゴリ	集計できる項目の説明
メンバーユーザ	集計時点で授業メンバー登録されたユーザの授業へのログイン回数や合計時間、メッセージ数を集計します
教材利用状況	教材の種類ごとに教材数、アクセス数、合計時間を集計します 自授業から他授業へのリンク教材でのアクセス数や合計時間も集計されます
時間帯別ログイン数 グラフ	ユーザが授業にログインした回数を時間帯ごとにグラフを表示します
時間帯別レポート提出 数グラフ	テスト/レポート/アンケート教材でレポートファイルをアップロードした回数を時間帯ごとにグラフを表示します
日別利用状況	1日ごとにログイン回数、メッセージ数、レポート提出数を集計します

なお、表示された集計結果をダウンロードするには「この結果をダウンロード」から保存してください。

より深く学習支援システム（WebClass）を知る

学習支援システム（WebClass）で授業を運用するために役立つ情報を掲載したリンクをご紹介します。

リンク集

先生（授業管理者）向け資料：主な機能について、やりたいことが実現できる機能を動画などで説明します。

- <https://webclass.jp/documents/course-manage>

FAQ：サポートのよくあるご質問と回答を紹介します。

- <https://datapacific.zohodesk.com/portal/ja/kb/webclass-faq>

学習支援システム（WebClass） R&D Team Blog：新しい機能や技術、Tips、不具合などの情報を更新しています。

- <https://webclass.jp/blog/>

© 2012 DATA PACIFIC (JAPAN) LTD.

本書の一部または全部を事前に承諾を得ることなく複製および転載することを禁じます。

本書に記載されたその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

レポート相互評価機能である「ピアレビュー機能」の開発にあたり大阪大学大学院 法学研究科の田中規久雄先生にご協力をいただきました。

システム中で使われている用語の見直し、SCORM1.2 や LOM への対応など、システム全体に渡る改善について電気通信大学 e-learning 推進センター様にご指導いただきました。

メッセージ機能や時間割表示機能など、学習支援システム (WebClass) のポータルサイト化にあたり金沢大学の総合メディア基盤センター様ならびに ICT 教育推進室様にご協力いただきました。

将来、学生が学習履歴を振り返って見られるようなデータ保存方法や年度管理方法について東京学芸大学様よりご指導いただきました。

SCORM 2004 対応にあたり、放送大学と千葉工業大学情報科学部による共同研究の成果物である ELECOA Player (<http://elecoa.ouj.ac.jp>) を改変し、使用させていただきました。

類似レポート検知機能のアルゴリズムは Paul Vitanyi (2006) 「圧縮度にもとづいた汎用な類似度測定法」『数理科学』2006 年 11 月号 No.521 を参考にしました。

タブレットでの利用を想定した機能の開発にあたり追手門学院大学様にご協力いただきました。